

第2期広島県地域福祉支援計画の策定に向けた 実態調査結果(暫定版) 資料集

—目次—

【調査A】包括的支援を機能させるための課題把握 -----	2
【調査B】多様な主体によるセーフティネットの実態 -----	10
【調査C】地域と相談支援機関等をつなぐコーディネート機能の実態 -----	18
【調査D】「生きづらさ」に関する県民の意識や対応の実態 -----	27
【調査E】市町の実情に応じた包括的支援体制・支え合いの実態 -----	48

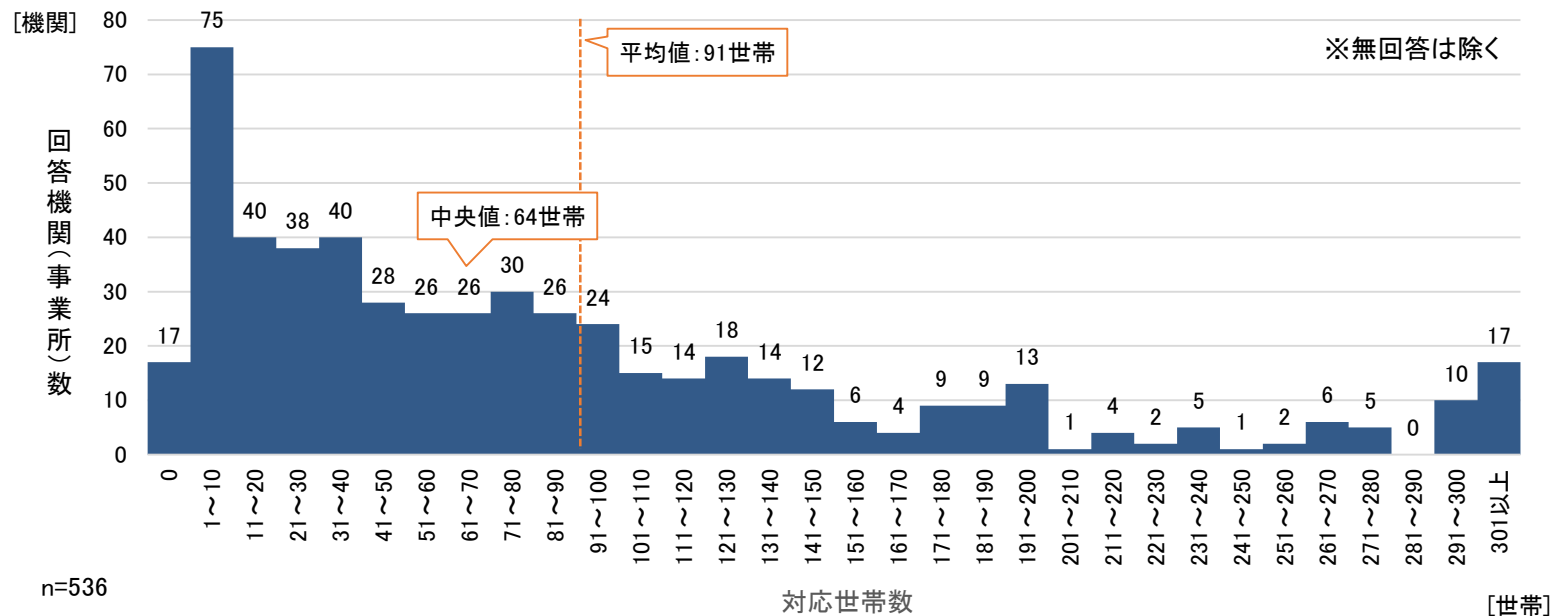
【A】集計結果 複合課題への対応

問1-2 貴機関(事業所)で令和4年度6月期に「対応」した世帯のおおよその数と、そのうち専門分野以外の課題がある、複合課題を抱えた世帯のおおよその数を教えてください。

※複合課題:各相談支援機関の専門分野以外の課題や制度の狭間に関する課題

(例)地域包括支援センター【専門分野:高齢者】が対応した世帯に、高齢の親の介護とひきこもりの子に関する課題があった場合

【令和4年度6月期に「対応」したおおよその数】



- 令和4年度6月期に対応した世帯数が1~10世帯と答えた機関(事業所)が最も多い
- 一機関(事業所)あたりの平均は91世帯, 中央値は65世帯

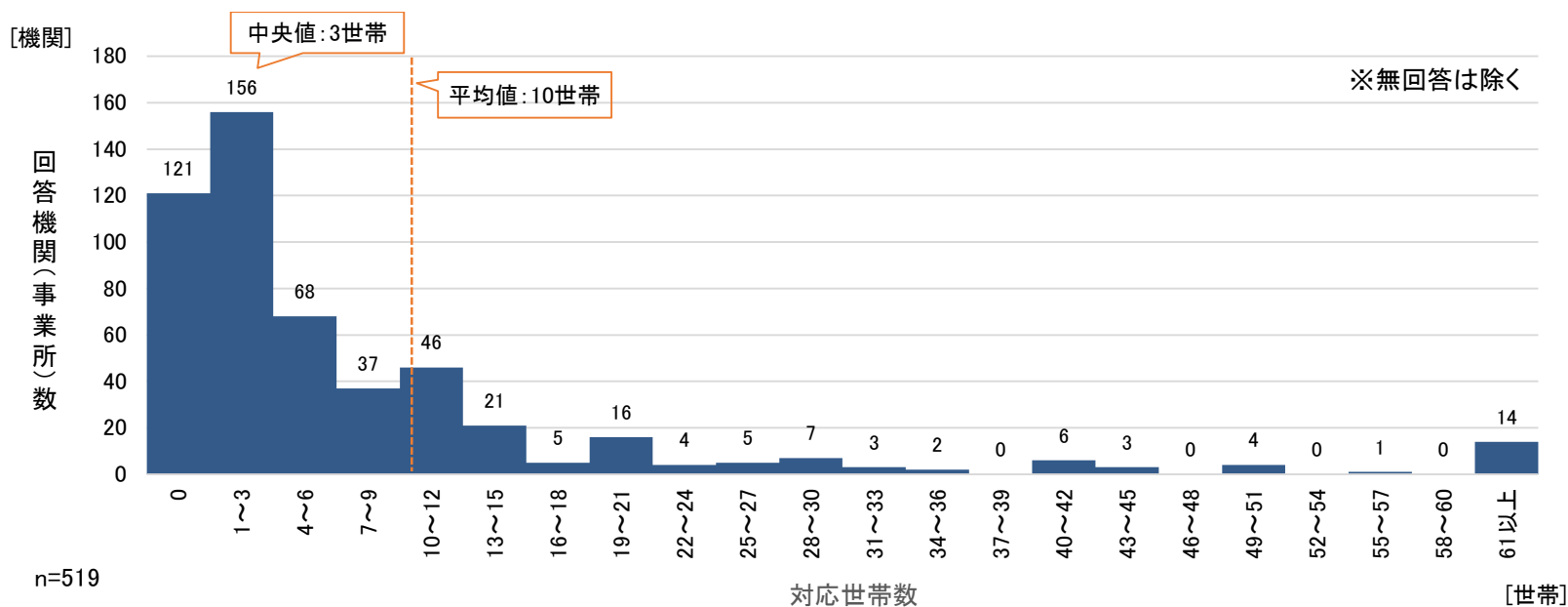
【A】集計結果 複合課題への対応

問1-2 貴機関(事業所)で令和4年度6月期に「対応」した世帯のおおよその数と、そのうち専門分野以外の課題がある、複合課題を抱えた世帯のおおよその数を教えてください。

※複合課題:各相談支援機関の専門分野以外の課題や制度の狭間の問題

(例)地域包括支援センター【専門分野:高齢者】が対応した世帯に、高齢の親の介護とひきこもりの子に関する課題があった場合

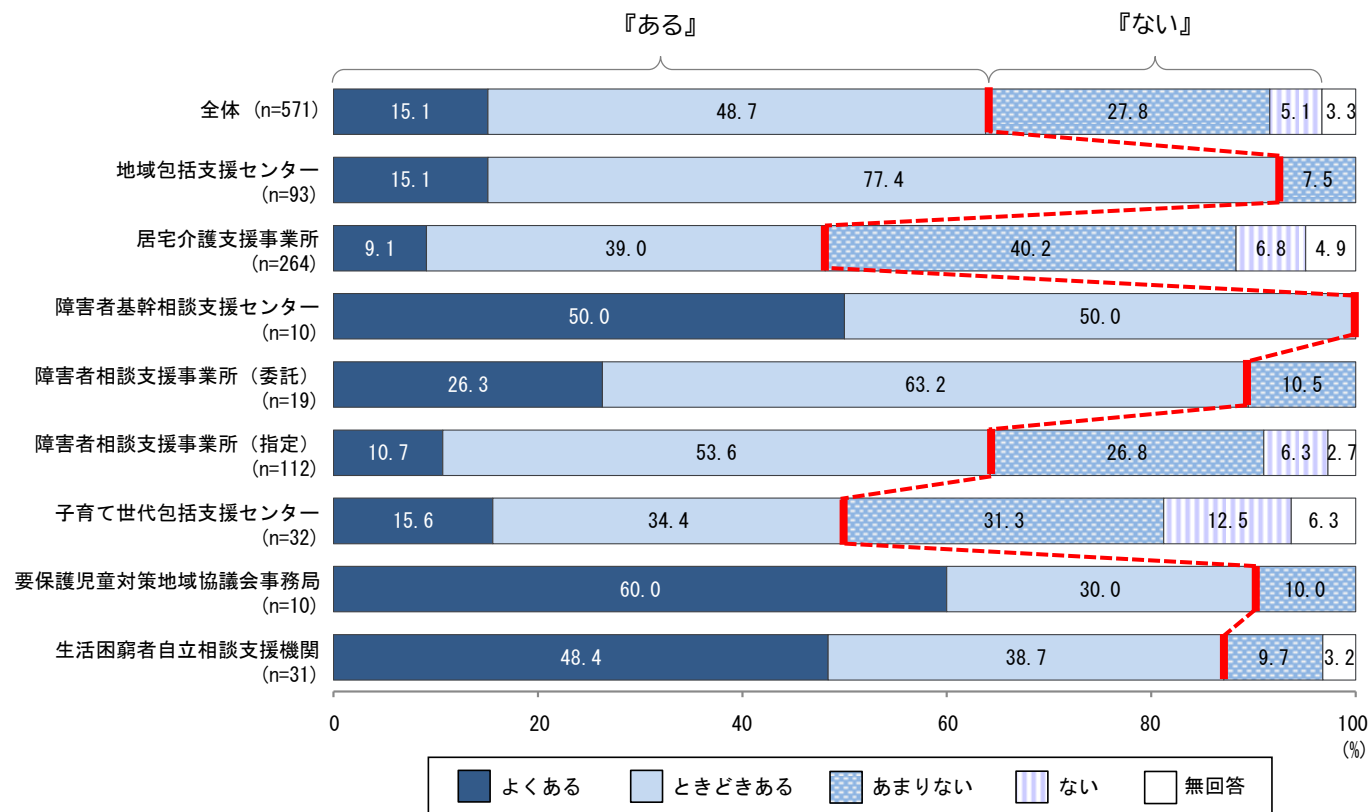
【そのうち専門分野以外の課題がある、複合課題を抱えた世帯】



- **全体の機関(事業所)の76.7%**は、複合課題を抱えた世帯の対応を行っている。
- その対応世帯数は、**1~3世帯と答えた機関(事業所)が最も多い**
- 一機関(事業所)あたりの**平均値は10世帯**、**中央値は3世帯**

【A】集計結果 複合課題への対応

問1-3 貴機関(事業所)で受け付けた相談のうち、年間を通じて、専門分野以外の課題がある、複合課題を抱えたケースはどの程度ありますか。



- 複合課題を抱えたケースについて、『よくある』『ときどきある』と回答した機関(事業所)が6割以上
- 障害者基幹相談支援センター、要保護児童対策地域協議会事務局では5割以上が『よくある』と回答

【A】集計結果 複合課題への対応

問1-9 問1-3のような複合課題の解決に向けて、必要であると感じているものを教えてください。(複数選択可)

		本人、世帯全体に対する支援方針の共有	継続的なモニタリング	各関係機関が実施している支援内容の共有	各関係機関との日頃からの関係づくり	各関係機関の明確な役割分担	各関係機関の連絡調整を行う機能	スローパーバイザーによる振り返り	インフォーマルな活用(地域団体による)	既存のサービスに充てる	既存のサービスでの対応	社会参加の仕組みづくり	既存のサービスでの対応	特別な必要であると感じるものはない	その他	無回答
全体	(n=364)	71.2	56.3	69.0	69.0	56.9	54.4	34.3	48.6	47.8	50.5	-	3.0	2.2		
機関区別	地域包括支援センター(n=86)	74.4	59.3	67.4	75.6	54.7	62.8	36.0	53.5	55.8	60.5	-	3.5	2.3		
	居宅介護支援事業所(n=127)	70.1	53.5	66.9	59.8	59.8	48.8	27.6	51.2	46.5	45.7	-	1.6	0.8		
	障害者基幹相談支援センター(n=10)	80.0	60.0	90.0	80.0	70.0	60.0	60.0	70.0	70.0	70.0	-	-	-		
	障害者相談支援事業所(委託)(n=17)	58.8	64.7	64.7	64.7	52.9	52.9	47.1	52.9	58.8	64.7	-	-	-		
	障害者相談支援事業所(指定)(n=72)	68.1	55.6	68.1	68.1	54.2	51.4	34.7	40.3	40.3	44.4	-	4.2	5.6		
	子育て世代包括支援センター(n=16)	68.8	62.5	87.5	68.8	56.3	62.5	43.8	31.3	43.8	37.5	-	12.5	-		
	要保護児童対策地域協議会事務局(n=9)	55.6	55.6	66.7	88.9	33.3	66.7	44.4	33.3	22.2	33.3	-	-	11.1		
	生活困窮者自立相談支援機関(n=27)	85.2	51.9	70.4	85.2	63.0	51.9	33.3	48.1	44.4	55.6	-	3.7	-		

1位 2位 3位

● 複合課題の解決に向けて必要であると感じるものは、

「本人、世帯全体に対する支援方針の共有」

「各関係機関が実施している支援内容の共有」

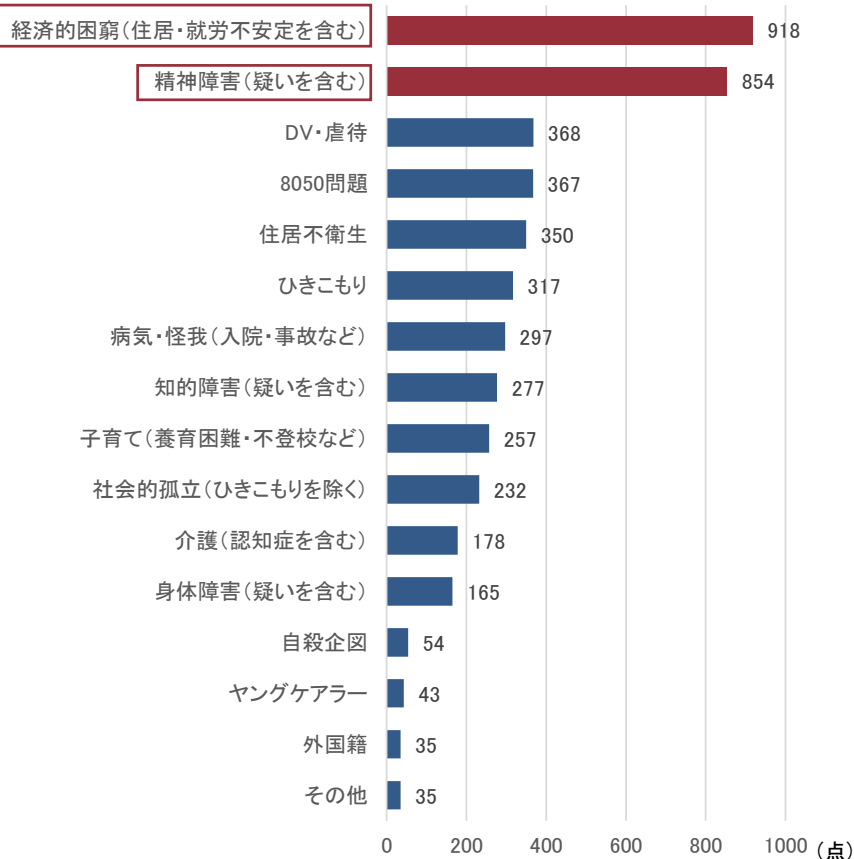
「各関係機関との日頃からの関係づくり」

が約7割を占めている

【A】集計結果 複合課題への対応

問1-5 問1-3の複合課題について、貴機関(事業所)が関わる専門分野以外の課題のうち、上位5つまで、多い順に教えてください。

※1位を5点、2位を4点、3位を3点、4位を2点、5位を1点で点数化して集計



<分野別>

	1位	2位	3位
高齢者(n=213)	精神障害	経済的困窮	8050問題
障害者(n=99)	経済的困窮	子育て	介護
子ども(n=25)	精神障害	経済的困窮	DV・虐待
生活困窮者(n=27)	精神障害	介護	病気・怪我

- 機関(事業所)の種別にかかわらず、経済的困窮(住居・就労不安定を含む)、精神障害(疑いを含む)が多い
- DV・虐待、8050問題、住居不衛生、ひきこもりなどは、大きな差がなく、様々な課題への対応が求められている

【A】集計結果 複合課題への対応

問1-7 問1-3の複合課題の支援に当たり、困難であると感じているケースを教えてください。(複数選択可)

様々な対応をしながら、伴走支援しているケースが多い

	援が円滑に進まないもの	自機関(事業所)の課題が解決対象ではないため、家族の支援対象	親族等の家族支援が不足しているもの	既存のサービスでの対応が困難なもの	支援対象者が相談やサービスの拒否しているもの	支援対象者の家族が、相談やサービスを拒否しているもの	特に困難と感じることは	その他	無回答
全体(n=364)	61.3	67.3	63.2	73.9	61.0	0.5	3.0	2.2	
機関区分別									
地域包括支援センター(n=86)	73.3	75.6	61.6	84.9	72.1	-	3.5	2.3	
居宅介護支援事業所(n=127)	62.2	71.7	59.8	67.7	55.1	1.6	2.4	1.6	
障害者基幹相談支援センター(n=10)	60.0	70.0	80.0	90.0	80.0	-	-	-	
障害者相談支援事業所(委託)(n=17)	41.2	52.9	76.5	70.6	52.9	-	-	5.9	
障害者相談支援事業所(指定)(n=72)	63.9	55.6	65.3	56.9	51.4	-	4.2	4.2	
子育て世代包括支援センター(n=16)	56.3	50.0	62.5	93.8	81.3	-	-	-	
要保護児童対策地域協議会事務局(n=9)	44.4	77.8	66.7	88.9	55.6	-	-	-	
生活困窮者自立相談支援機関(n=27)	33.3	66.7	63.0	92.6	66.7	-	7.4	-	

1位 2位 3位

- どの選択肢も6割を超えており、機関(事業所)の種別にかかわらず、共通の課題を抱えている傾向がある
- 「支援対象者が相談やサービスを拒否しているもの」が73.9%と最も高い
- 次に、「親族等の家族支援が不足しているもの」が67.3%となっている

【A】集計結果 地域とのつながり

問3-2 地域とのつながりについて、各項目で現在行っていること、今後充実させたいことを選択してください。
(複数選択可)

(%)

	現在行っていること							今後充実させたいこと						
	画地域福祉 事業・団体 の参加企 業	の自機 関が企 画する 事業へ の参加	づ地域 住民が 集まる 居場所	等地域 課題を 解決す る会議	力ケ 依ス の 見守り 等への 協	の日 頃 からの 情報共 有の場 の設 置	その他	画地域 福祉 事業・ 団体の 参加企 業	の自機 関が企 画する 事業へ の参加	づ地域 住民が 集まる 居場所	等地域 課題を 解決す る会議	力ケ 依ス の 見守り 等への 協	の日 頃 からの 情報共 有の場 の設 置	その他
全 体 (n=571)	34.5	28.5	22.1	41.0	37.8	27.3	0.9	36.1	29.2	43.4	44.7	43.4	45.4	0.9
地域包括支援センター (n=98)	73.1	77.4	72.0	76.3	82.8	54.8	-	45.2	44.1	57.0	52.7	47.3	59.1	-
居宅介護支援事業所 (n=264)	25.8	12.5	10.2	28.4	29.5	18.6	0.8	37.1	26.1	42.4	44.7	42.0	40.2	1.1
障害者基幹相談支援センター (n=10)	40.0	60.0	20.0	80.0	30.0	60.0	-	70.0	80.0	90.0	70.0	90.0	70.0	-
障害者相談支援事業所(委託) (n=19)	36.8	26.3	15.8	63.2	10.5	15.8	-	42.1	21.1	47.4	52.6	47.4	47.4	5.3
障害者相談支援事業所(指定) (n=112)	31.3	17.0	7.1	40.2	19.6	20.5	-	25.9	24.1	27.7	33.0	33.9	41.1	-
子育て世代包括支援センター (n=32)	9.4	43.8	28.1	28.1	40.6	28.1	9.4	25.0	21.9	53.1	46.9	50.0	56.3	3.1
要保護児童対策地域協議会事務局 (n=10)	10.0	50.0	10.0	40.0	50.0	60.0	-	20.0	20.0	30.0	10.0	40.0	20.0	-
生活困窮者自立相談支援機関 (n=31)	35.5	29.0	29.0	32.3	51.6	29.0	-	38.7	29.0	45.2	58.1	54.8	51.6	-

全体の+10ポイント以上
 全体の-10ポイント以下

- 地域とのつながりについて「現在行っていること」は、地域包括支援センターがいずれの項目も高く、大きな役割を果たしている。
- 今後充実させたいことは、「日頃からの情報共有の場の設置」が最も高い

【A】集計結果 地域とのつながり

問3-3 地域とのつながりについて、課題を教えてください。(複数選択可)

問3-4 地域と連携して問1-3のような複合課題に対する場合について、現時点において、地域住民による活動を行うことが困難と感じることについて教えてください。(複数選択可)

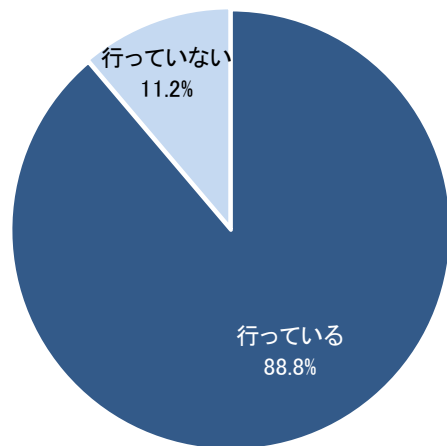
	地域とのつながりの課題								地域住民による活動を行うことが困難と感じること							
	な地域の活動を把握していない	地域づくりのキーパーソンとの関係が築けていない	地域との関係づくりの方法がわからない	日々の業務に追われており、関係をつくる余裕がない	関係づくりの必要性を感じない	特に課題を感じていない	その他	無回答	複合課題の対象者とのつながりづくり	複合課題の対象者の居場所づくり	複合課題の対象者への見守り	複合課題の対象者への日常生活支援	課題解決のためのケース会議への参加	特に困難と感じることは	その他	無回答
全体(n=571)	35.2	46.8	20.5	60.6	0.9	4.9	6.0	8.2	59.2	51.3	37.7	54.6	23.1	2.1	2.6	10.0
地域包括支援センター(n=93)	19.4	23.7	7.5	52.7	1.1	9.7	18.3	7.5	62.4	64.5	50.5	64.5	28.0	-	6.5	6.5
居宅介護支援事業所(n=264)	36.4	48.5	24.2	65.5	0.8	2.7	2.7	10.6	59.8	48.5	36.4	47.7	21.6	2.7	1.9	12.1
障害者基幹相談支援センター(n=10)	50.0	70.0	10.0	60.0	10.0	10.0	10.0	-	100.0	90.0	50.0	80.0	40.0	-	-	-
障害者相談支援事業所(委託)(n=19)	36.8	68.4	47.4	52.6	5.3	-	-	5.3	57.9	42.1	47.4	57.9	26.3	-	-	5.3
障害者相談支援事業所(指定)(n=112)	42.0	54.5	19.6	57.1	-	3.6	4.5	8.9	48.2	40.2	32.1	54.5	24.1	1.8	2.7	12.5
子育て世代包括支援センター(n=32)	34.4	56.3	12.5	43.8	-	12.5	6.3	3.1	68.8	43.8	31.3	59.4	15.6	9.4	-	9.4
要保護児童対策地域協議会事務局(n=10)	50.0	40.0	30.0	80.0	-	-	-	-	50.0	70.0	20.0	60.0	10.0	-	-	-
生活困窮者自立相談支援機関(n=31)	38.7	45.2	22.6	71.0	-	9.7	6.5	-	64.5	71.0	32.3	67.7	22.6	-	3.2	3.2
		1位		2位		3位				1位		2位		3位		

- 地域とのつながりの課題は、「日々の業務に追われており、関係をつくる余裕がない」が共通して高い
- また、「地域づくりのキーパーソンとの関係が築けていない」や「地域の活動を把握していない」も高い
- 地域住民による活動を行うことが困難と感じることは、「課題解決のためのケース会議への参加」は低く、「対象者とのつながりづくり」が高くなっており、支え合い活動への発展に困難さを感じている。

【B】集計結果 地域貢献活動の状況

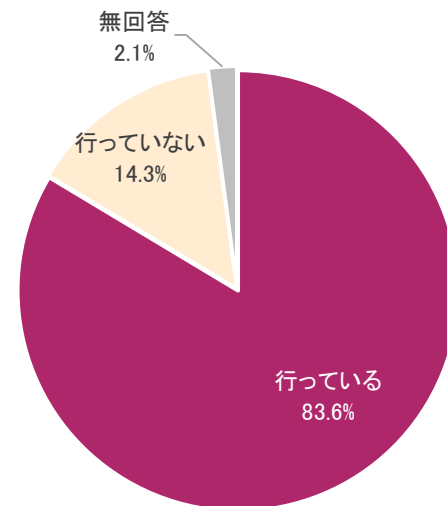
貴法人(施設)では、地域と関わりながら行う活動(以下「地域貢献活動」という)を実施していますか(コロナ禍による休止を含む)。

【社福等】



n=223

【NPO】



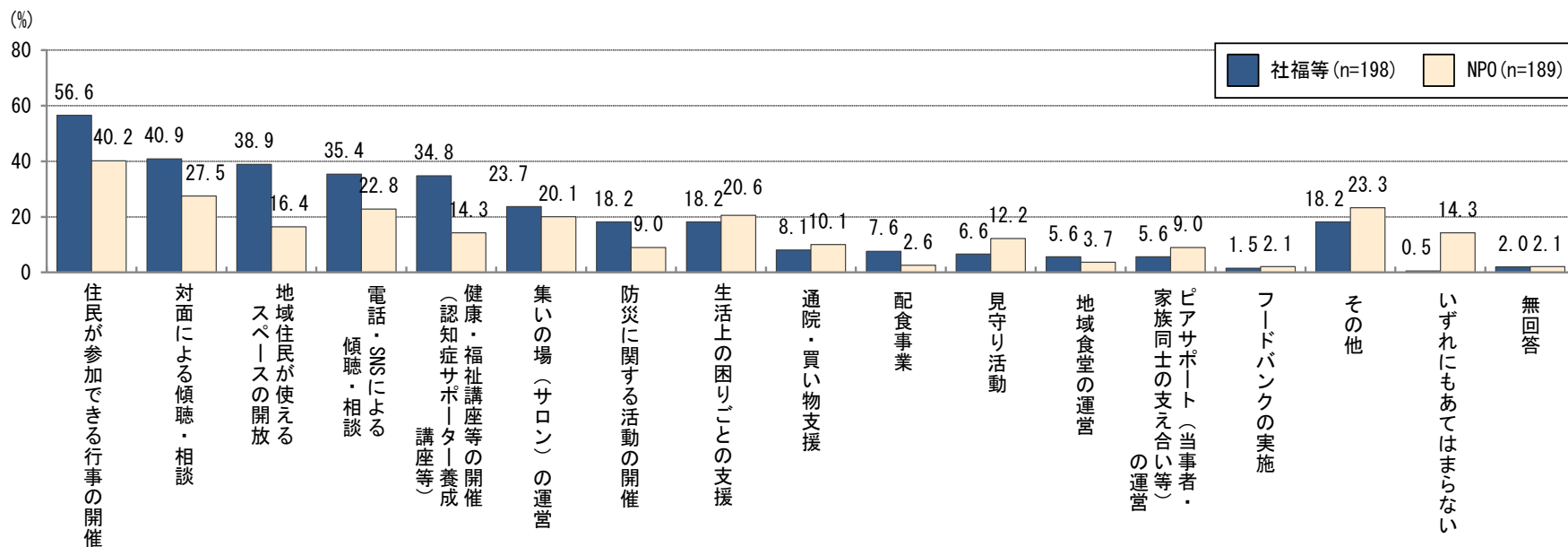
n=189

● 地域貢献活動を実施している法人/団体は、社福等が88.8%、NPOが83.6%

【B】集計結果 地域貢献活動の状況

次の地域貢献活動について貴団体の状況について、当てはまるものを選択してください(コロナ禍による休止を含む)。

【現在やっていること】

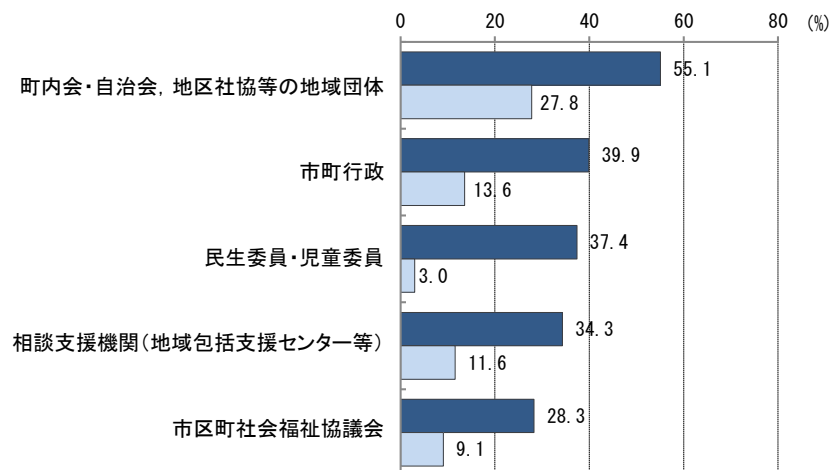


- 現在やっていることについて、回答の多かった上位3つは、
 - ・1位:「地域住民が参加できる行事の開催」 社福等 56.6% NPO 40.2%
 - ・2位:「対面による傾聴・相談」 社福等 40.9% NPO 27.5%
 - ・3位:「地域住民が使えるスペースの開放」 社福等 38.9%
「電話・SNSによる傾聴・相談」 NPO 22.8%

【B】集計結果 地域貢献活動の状況

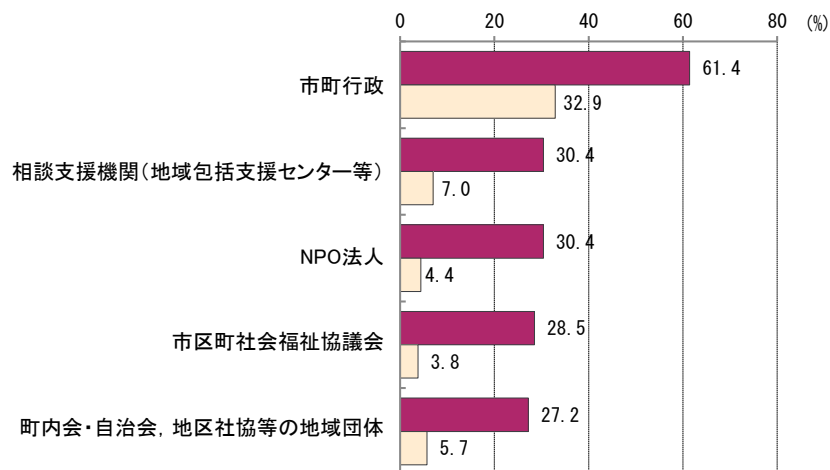
活動を実施する上で、連携している団体等をすべて選択してください。
また、その中で最も連携しているものを一つ選択してください。

【社福等(上位5位)】



■ 地域貢献活動の実施で、連携している団体等(n=198)
■ 地域貢献活動の実施で、最も連携している団体等(n=198)

【NPO(上位5位)】



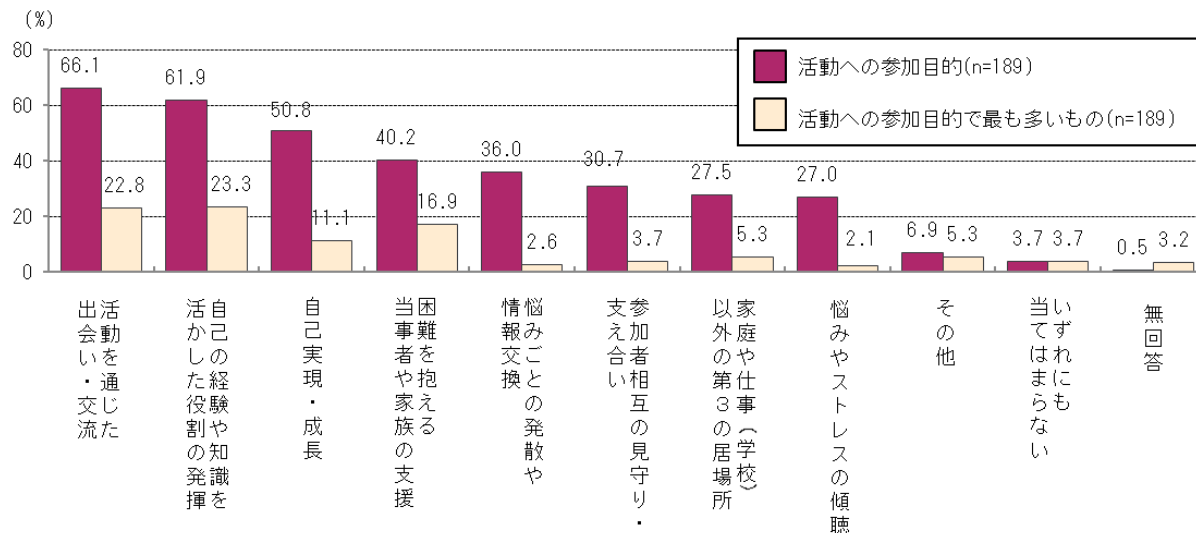
■ 地域貢献活動の実施で、連携している団体等(n=158)
■ 地域貢献活動の実施で、最も連携している団体等(n=158)

- 連携している団体等について、回答の多かった上位3つは、
 - ・社福等：「町内会・自治会, 地区社協等の地域団体(55.1%)」「市町行政(39.9%)」「民生委員・児童委員(37.4%)」
 - ・NPO：「市町行政(61.4%)」「相談支援機関(地域包括支援センター等)(30.4%)」「NPO(30.4%)」

【B】集計結果 地域貢献活動の状況

貴団体の活動への参加目的で当てはまるものをすべて選択してください。
また、その中で最も多い目的だと思うものを一つ選択してください。

【NPO】



<活動分野別>

活動への参加目的

	1位	2位	3位
保健, 医療, 福祉分野(n=112)	活動を通じた出会い・交流	自己の経験や知識を活かした役割の発揮	困難を抱える当事者や家族の支援
その他(n=77)	活動を通じた出会い・交流	自己の経験や知識を活かした役割の発揮	自己実現・成長

活動への参加目的で最も多いもの

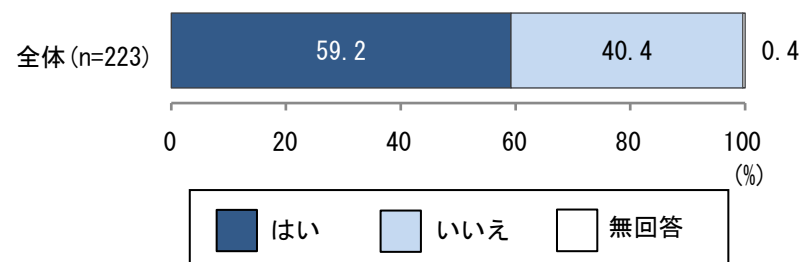
	1位	2位	3位
保健, 医療, 福祉分野(n=112)	自己の経験や知識を活かした役割の発揮	困難を抱える当事者や家族の支援	活動を通じた出会い・交流
その他(n=77)	活動を通じた出会い・交流	自己の経験や知識を活かした役割の発揮	自己実現・成長

- 活動への参加目的は、保健・医療・福祉分野でもそれ以外でも「活動を通じた出会い交流」が第1位
- 活動への参加目的で最も多いものを活動分野別にみると、保健・医療・福祉分野のNPOの特徴として「自己の経験や知識を生かした役割の発揮」が第1位となっている
- NPOが「困難を抱える当事者や家族の支援」の一端を担っている(40.2%)

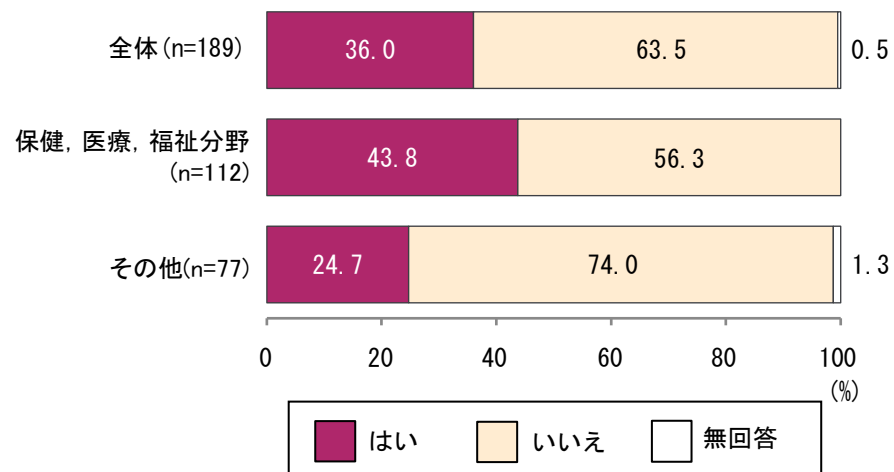
【B】集計結果 福祉課題を抱えた世帯の発見・相談の状況

地域貢献活動を行う中で福祉課題のある世帯の発見や相談はありましたか。

【社福等(上位5位)】



【NPO】<活動分野別>

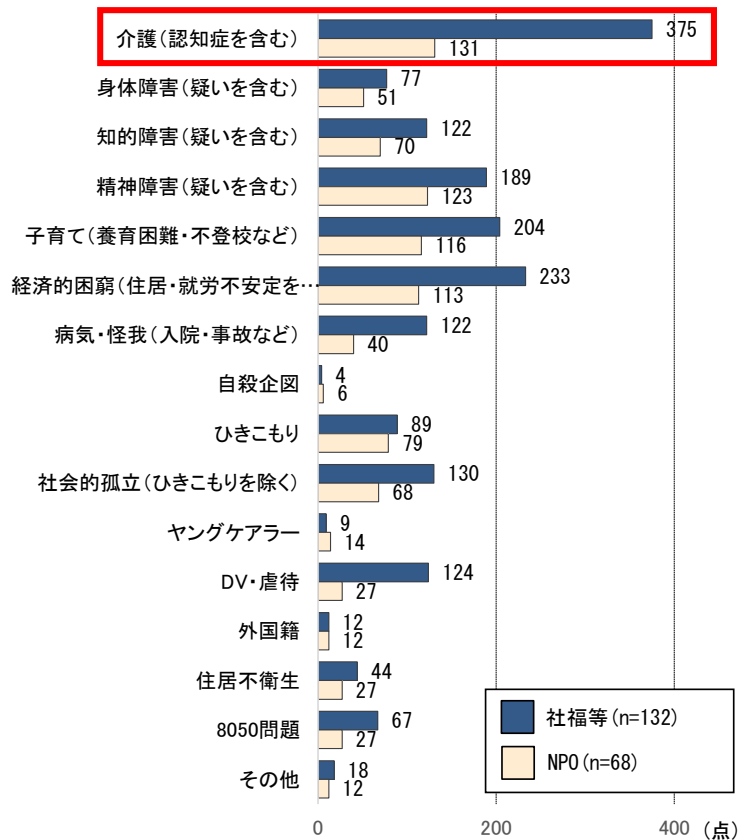


- 課題のある世帯の発見や相談がある法人/団体は,
 - ・社福等で59.2% (法人・団体全体数の26.1%)
 - ・NPOで36.0% (法人全体数の8.7%)
- 保健・医療・福祉分野とそれ以外の分野のNPOとでは、「課題の発見や相談がある」割合に差がある
 - ・保健・医療・福祉分野で43.8%, それ以外で24.7%

【B】集計結果 福祉課題を抱えた世帯の発見・相談の状況

多いと感じる福祉課題のうち、次の1から16の選択肢の中で上位5つまで多い順に教えてください。

<全体> ※1位を5点、2位を4点、3位を3点、4位を2点、5位を1点で点数化して集計



【社福等】<施設分野別>

	1位	2位	3位
児童分野(n=55)	子育て	介護	知的障害
高齢者分野(n=81)	介護	経済的困窮	精神障害
障害者分野(n=49)	精神障害	介護	経済的困窮
その他(n=15)	介護	子育て	精神障害

【NPO】<活動分野別>

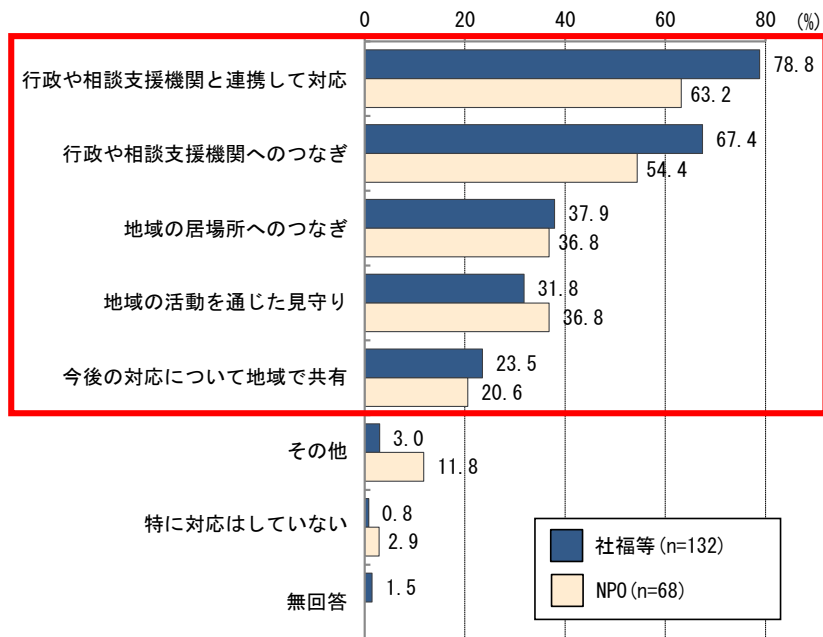
	1位	2位	3位
保健、医療、福祉分野(n=49)	介護	精神障害	経済的困窮
その他(n=19)	子育て	経済的困窮	精神障害

- 社福等とNPOのいずれにおいても、**介護が最も多い課題**となっている
- 実態調査④と共通して、**精神障害や経済的困窮は上位**となっている

【B】集計結果 福祉課題を抱えた世帯の発見・相談の状況

福祉課題のある世帯への対応方法について、当てはまるものを選択してください。

<全体>



<活動年数別>

	活動年数別	対応方法 (%)								
		携してや相談支援機関と連携	行政や相談支援機関へのつながり	地域の居場所へのつながり	地域の活動を通じた見守り	で今後の対応について地域共有	その他	特に対応はしていない	無回答	
社福等	全体 (n=132)	78.8	67.4	37.9	31.8	23.5	3.0	0.8	1.5	
	1年未満 (n=30)	73.3	70.0	43.3	33.3	23.3	-	3.3	3.3	
	1年以上3年未満 (n=55)	78.2	72.7	38.2	27.3	20.0	1.8	-	-	
	3年以上5年未満 (n=81)	77.8	63.0	40.7	42.0	29.6	2.5	1.2	2.5	
	5年以上10年未満 (n=49)	93.9	69.4	38.8	32.7	24.5	4.1	-	-	
	10年以上 (n=15)	80.0	53.3	40.0	53.3	53.3	6.7	-	6.7	
NPO	全体 (n=68)	63.2	54.4	36.8	36.8	20.6	11.8	2.9	-	
	1年未満 (n=3)	66.7	33.3	66.7	66.7	-	-	-	-	
	1年以上3年未満 (n=4)	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	
	3年以上5年未満 (n=8)	87.5	62.5	37.5	50.0	12.5	-	-	-	
	5年以上10年未満 (n=10)	60.0	90.0	50.0	40.0	20.0	10.0	-	-	
	10年以上 (n=40)	60.0	52.5	32.5	35.0	27.5	17.5	2.5	-	

1位 (濃い青) 2位 (薄い青) 3位 (グレー)

● 「特に対応はしていない」はほとんどない

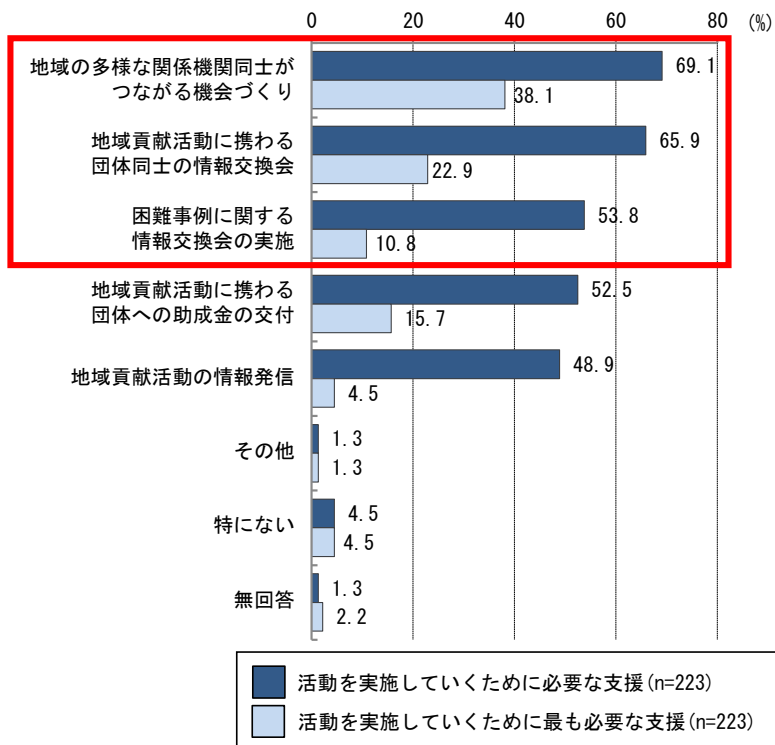
・社福等で0.8%, NPOで2.9%

● 社福等とNPOのいずれにおいても、「行政や相談支援機関と連携して対応」が78.8%, 63.2%と最も高い
また、長期で活動している法人ほど地域と連携しながら対応している割合が高い傾向がある

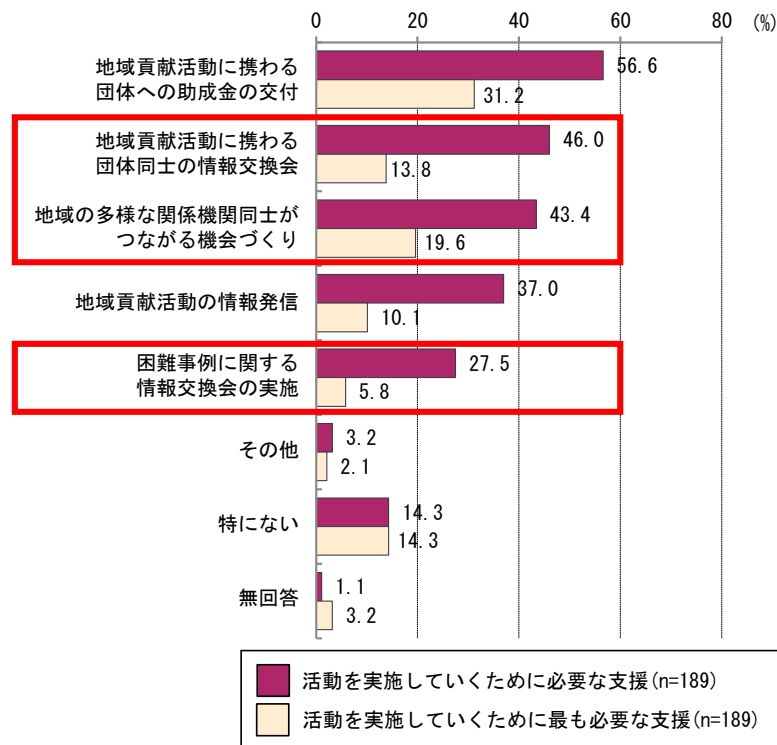
【B】集計結果 行政への期待

地域内の居場所づくりや見守り活動、複合課題のある世帯への対応などを実施していくためには、どのような支援があればよいと思いますか。当てはまるものをすべて選択してください。また、その中で最も必要だと思うものを一つ選択してください。

【社福等】



【NPO】



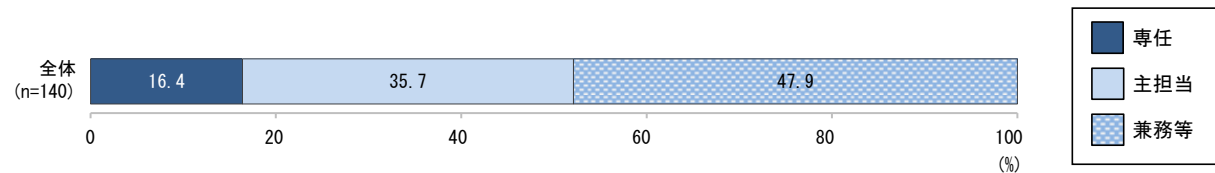
- 自団体/法人のみだけでなく、関係機関との連携の場が必要とされている
 - ・地域の多様な関係機関同士がつながる機会づくり 社福等で69.1%, NPOで43.4%
 - ・地域貢献活動に携わる団体同士の情報交換会 社福等で65.9%, NPOで46.0%
 - ・困難事例に関する情報交換会の実施 社福等で53.8%, NPOで27.5%

【C】集計結果 地域づくり活動の状況

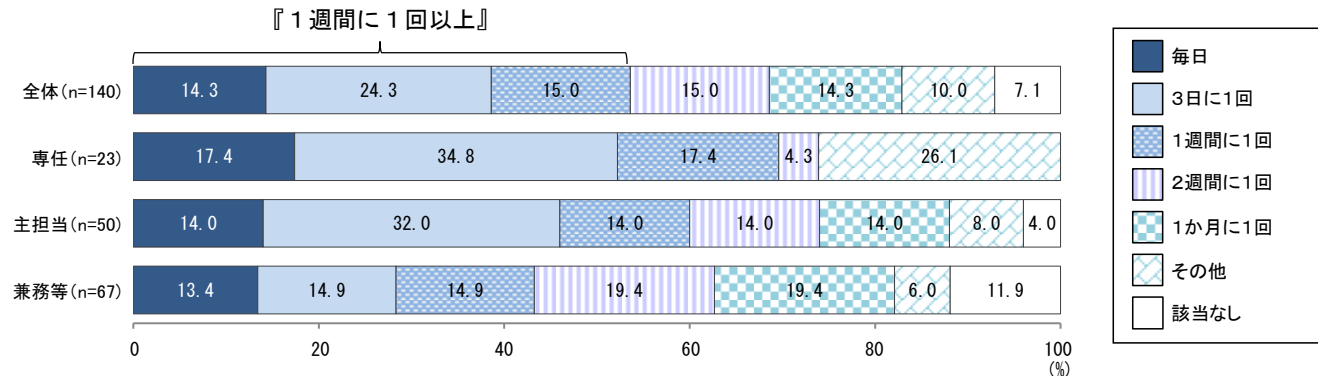
仕事上で、地域づくりの定義に当てはまる活動を行っていると選択された方にお伺いします
あなたは、どのような形で活動を行っていますか

問10 あなたが現在、地域づくり業務で地域に出ている頻度について、当てはまるものを選択してください

【担当状況】



【地域に出ている頻度】<担当状況別>



- 地域づくり活動の担当状況について、「専任」が16.4%、「主担当」35.7%、「兼務等」が47.9%となっている
- 地域づくり業務で地域に出ている頻度は、「3日に1回」が24.3%と最も高く、『1週間に1回以上』が半分以上を占める
兼務等・主担当・専任の順に地域に出ている頻度が高くなる傾向がみられる

【C】集計結果 地域づくり活動の状況

問11 次の活動について、あなたが地域づくり業務で行っているものとして当てはまるものを選択してください(いくつでも)

<所属別(上位13位)>

(%)

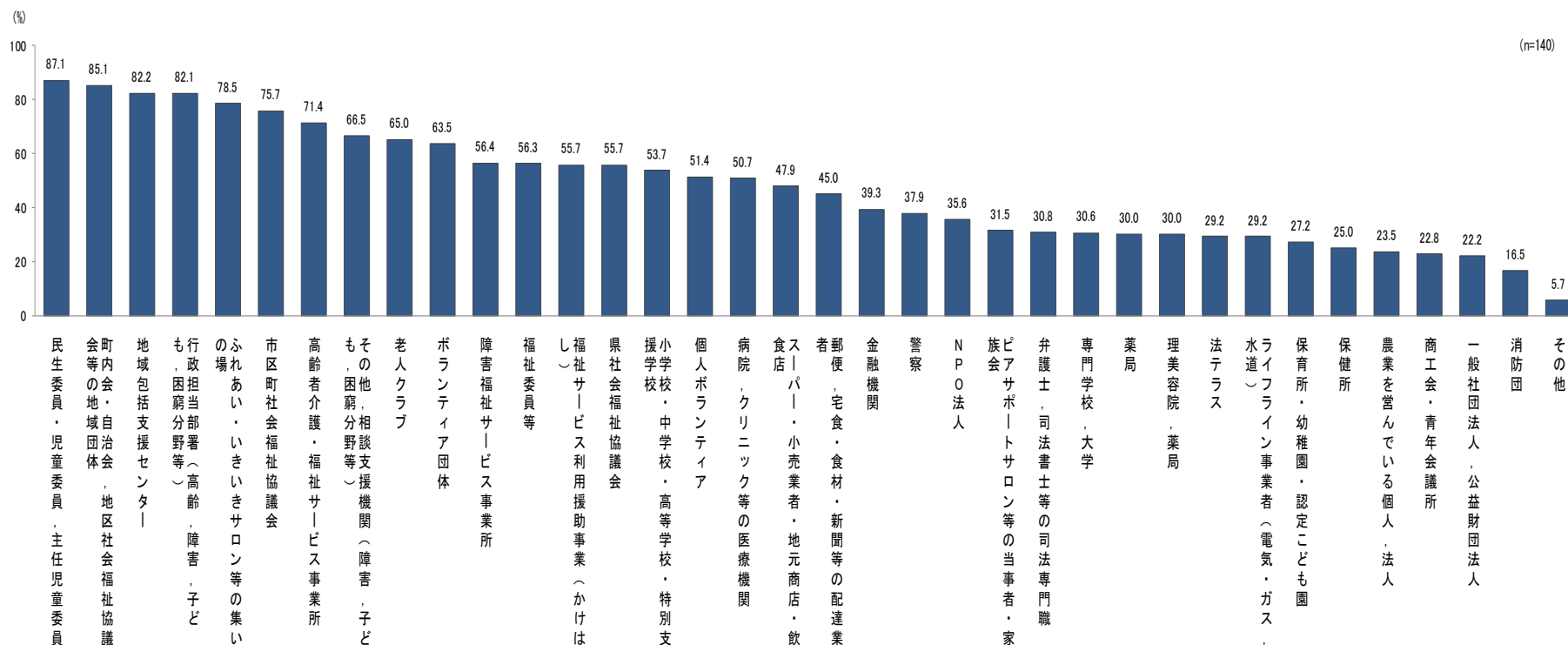
		問11 地域づくり業務で行っている活動 (MA)												
		地域資源の把握(リスト、マップづくり等)	ふれあいサロンの運営の支援	日常生活圏域のネットワーク会議の定期開催	介護予防・健康体操作の目的としたサロンの運営の支援	地域行事の支援、参加	地域や学校のネットワーク交流会への参加	住民がゆるやかに集う居場所づくり	住居の修繕促進ワークショップ、研修等の開催	ボランティア活動支援	小地域福祉活動の関係者との会議の設立準備・運営	生活支援活動の運営支援	地域や学校等に対する福祉教育支援	家庭訪問
全	体 (n=140)	58.6	52.9	44.3	42.9	42.9	42.9	39.3	38.6	38.6	36.4	31.4	30.7	25.0
所	市町(区)行政 (n=13)	61.5	7.7	15.4	15.4	15.4	23.1	7.7	46.2	7.7	7.7	-	-	46.2
属	市町(区)社会福祉協議会 (n=93)	53.8	63.4	36.6	40.9	41.9	41.9	39.8	36.6	47.3	43.0	30.1	37.6	15.1
別	その他(地域包括支援センター) (n=34)	70.6	41.2	76.5	58.8	55.9	52.9	50.0	41.2	26.5	29.4	47.1	23.5	44.1

1位
 2位
 3位

- 地域づくり業務での活動は、「地域資源の把握(リスト、マップづくり等)」(58.6%)、「ふれあいサロンの運営の支援」(52.9%)
- 所属別にみると、市町(区)行政では「地域資源の把握(リスト、マップづくり等)」(61.5%)、市町(区)社会福祉協議会では「ふれあいサロンの運営の支援」(63.4%)、その他(地域包括支援センター)では「日常生活圏域のネットワーク会議の定期開催」(76.5%)がそれぞれ最も高い

【C】集計結果 地域づくり活動の状況

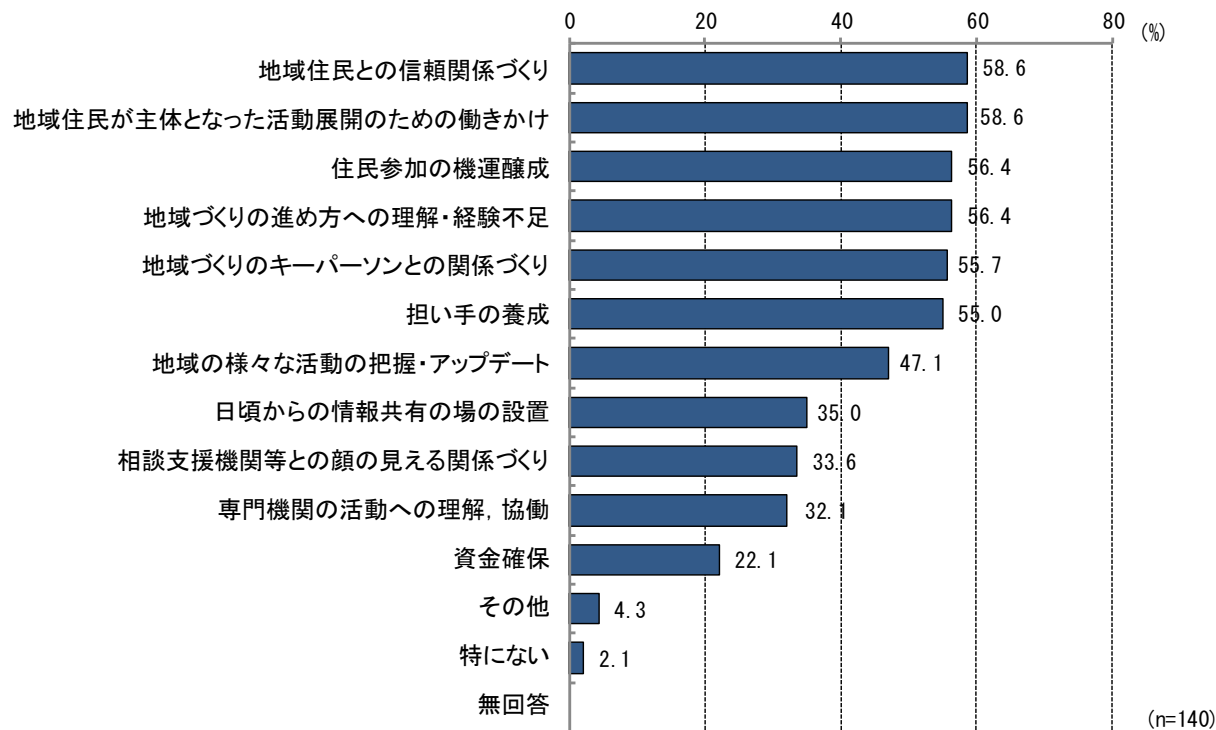
問12 地域づくりに関する活動に当たってどのような個人や団体・機関と連携していますか
当てはまるものを選択してください(それぞれ一つを選択)



● 連携先の上位は、「民生委員・児童委員」(87.1%)「自治会・町内会」(85.1%)

【C】集計結果 活動を進める上での課題

問13-1 活動を進める上で、苦労したことについて、当てはまるものを選択してください(いくつでも)



- 活動を進める上で苦労したことは、「地域住民との信頼関係づくり」、「地域住民が主体となった活動展開のための働きかけ」がともに58.6%と最も高い

【C】集計結果 活動を進める上での課題

問15-1 地域のコーディネートに求められる能力は何だと思いますか当てはまるものをすべて選択してください(いくつでも)

<経験年数別>

(%)

		問15-1 地域のコーディネートに求められる能力 (MA)									
		地域とのつながり、信頼関係を深める能力	地域の強み、課題を把握する能力	相手へ分かりやすく伝える能力	地域住民、関係機関と調整する能力	ニーズに合わせた活動を企画する能力	地域での困りごとや悩みを判断する能力	地域活動を企画する能力	その他	特になし	無回答
全体 (n=140)		91.4	83.6	76.4	72.1	70.0	67.1	52.1	5.0	-	-
経験年数別	1年未満 (n=19)	84.2	84.2	63.2	68.4	57.9	78.9	52.6	-	-	-
	1年以上3年未満 (n=32)	93.8	81.3	78.1	84.4	65.6	68.8	46.9	6.3	-	-
	3年以上5年未満 (n=28)	100.0	82.1	78.6	64.3	60.7	50.0	32.1	-	-	-
	5年以上10年未満 (n=29)	89.7	82.8	79.3	58.6	75.9	72.4	62.1	10.3	-	-
	10年以上 (n=32)	87.5	87.5	78.1	81.3	84.4	68.8	65.6	6.3	-	-

■ 1位 ■ 2位 ■ 3位

- 地域のコーディネートに求められる能力について、「地域とのつながり、信頼関係を深める能力」が91.4%と最も高い
- 経験年数別にみると、10年以上においては「ニーズに合わせた活動を企画する能力」が84.4%と高くなっている

【C】集計結果 活動を進める上での課題

問14 活動を続けていく上で課題と感ずることについて、当てはまるものを選択してください(いくつでも)

<人口規模別>

(%)

		問14 活動を続けていく上での課題																		
		活動の担い手の減少	加特定の活動者への負担増	りいな地域との関係づく	とりまめ役の後継者が	不足のリーダー的人材の	くりいな自治会が機能し	町内会・自治会での関係づ	いり関係を作る余裕がな	日々の業務に追われてお	参加者の減少	福祉活動の推進組織や住	地域福祉活動のメンテナ	民間企業が取れていない	活動資金の不足	ない行政との連携が取れて	法がわからない	地域との関係づくりの方	報専門知識や技術などの情	その他
全	体 (n=140)	70.7	62.1	61.4	55.7	50.0	38.6	35.7	31.4	28.6	17.1	16.4	15.7	13.6	3.6	-	-			
規 模 別	10万人以上 (n=76)	64.5	60.5	64.5	59.2	51.3	47.4	34.2	30.3	30.3	17.1	13.2	19.7	11.8	5.3	-	-			
	3~10万人未満 (n=28)	82.1	71.4	53.6	60.7	57.1	28.6	46.4	46.4	28.6	25.0	10.7	14.3	21.4	3.6	-	-			
	3万人未満 (n=36)	75.0	58.3	61.1	44.4	41.7	27.8	30.6	22.2	25.0	11.1	27.8	8.3	11.1	-	-	-			

1位 2位 3位

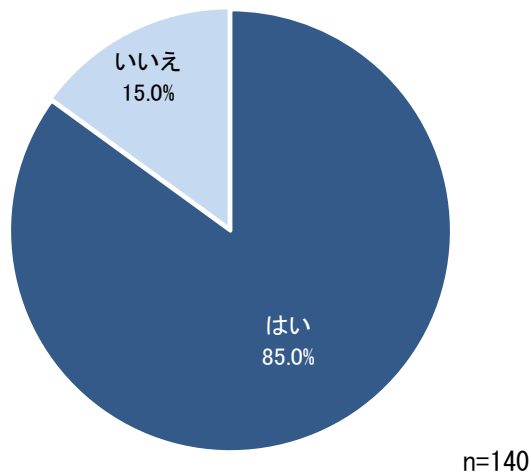
- 活動を続けていく上での課題については、「活動の担い手の減少」(70.7%)が最も高い
- 人口規模別にみると、どの人口規模の地域においても「活動の担い手の減少」が最も高くなっている

【C】集計結果 福祉課題に対しての連携

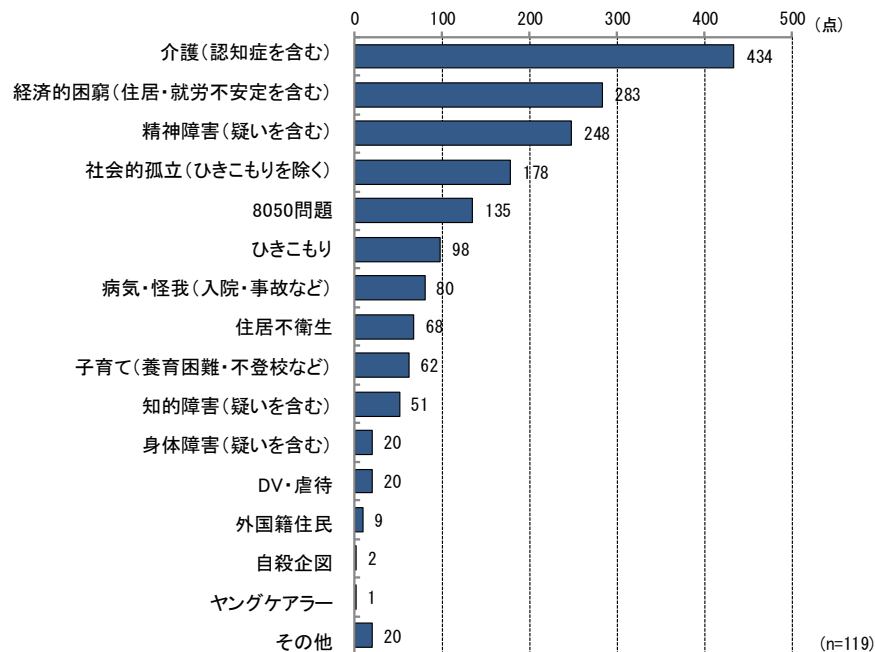
問18 地域づくりなどの活動を行う中で福祉課題を抱えた世帯の相談や発見はありましたか

問19 多いと感じる福祉課題のうち、次の選択肢の中で上位5つまで多い順に教えてください
(2番目以降については、多いと感じる福祉課題が複数ある方のみお答えください)

【福祉課題を抱えた世帯の相談・発見の有無】



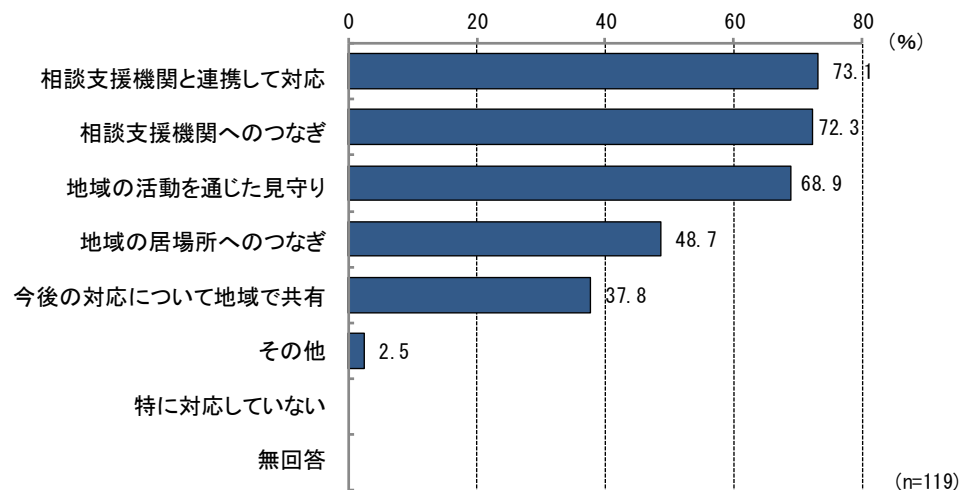
【福祉課題の内容】※1位を5点、2位を4点、3位を3点、4位を2点、5位を1点で点数化して集計



- 福祉課題を抱えた世帯の相談や発見は、85.0%があると回答している
- 課題の内容は介護が最も高く、次いで経済的困窮、精神障害などの順となっている

【C】集計結果 福祉課題に対しての連携

問20 福祉課題のある世帯への対応方法について、当てはまるものを選択してください(いくつでも)



- 福祉課題を抱えた世帯への対応方法は、「相談支援機関と連携して対応」(73.1%)、「相談支援機関へのつながり」(72.3%)、「地域の活動を通じた見守り」(68.9%)が高くなっている

【C】集計結果 福祉課題に対しての連携

問23 福祉課題のある世帯への対応において、必要であると感じているものについて、当てはまるものを選択してください（いくつでも）

(%)

		問23 福祉課題のある世帯への対応において必要なもの														
		本人、世帯全体に対する支援方針の共有	各関係機関との日頃から関係づくり	継続的なモニタリング	各関係機関が実施している支援内容の共有	各関係機関の明確な役割分担	（地域団体など）の活用	インフォーマルサービス	各関係機関の連携調整を行う機能	社会参加の仕組みづくり	既存のサービスでの対応	既存のサービスでの対応	スリバイザーによる振り分け	その他	特になし	無回答
全体	(n=140)	78.6	73.6	69.3	66.4	60.0	57.1	52.1	48.6	47.9	33.6	1.4	1.4	-		
人口規模別	10万人以上 (n=76)	80.3	78.9	68.4	71.1	65.8	53.9	51.3	50.0	51.3	36.8	1.3	1.3	-		
	3～10万人未満 (n=28)	85.7	71.4	75.0	53.6	46.4	67.9	57.1	53.6	53.6	39.3	-	-	-		
	3万人未満 (n=36)	69.4	63.9	66.7	66.7	58.3	55.6	50.0	41.7	36.1	22.2	2.8	2.8	-		

1位 2位 3位

- 福祉課題のある世帯の対応に必要なものについて、「本人、世帯全体に対する支援方針の共有」が78.6%と最も高い
- 人口規模別にみると、いずれの人口規模の地域においても「本人、世帯全体に対する支援方針の共有」が最も高い

【D】集計結果 安心感について

【悩みがあると答えた人の割合】

n=3,483

	悩み有	全体割合
日常的な悩み	2,844	81.7%
福祉的な悩み	1,373	39.4%

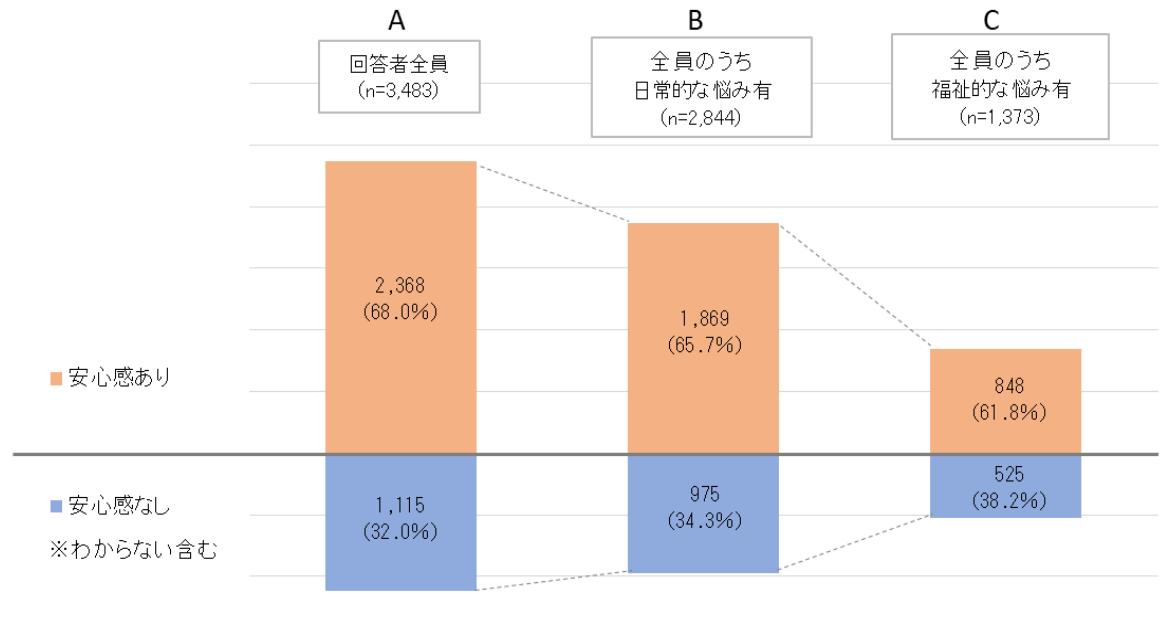
【参考】

日常的な悩み(P38)

健康について、収入について、子育てについて など

福祉的な悩み(P41)

認知症や介護、障害、困窮について など



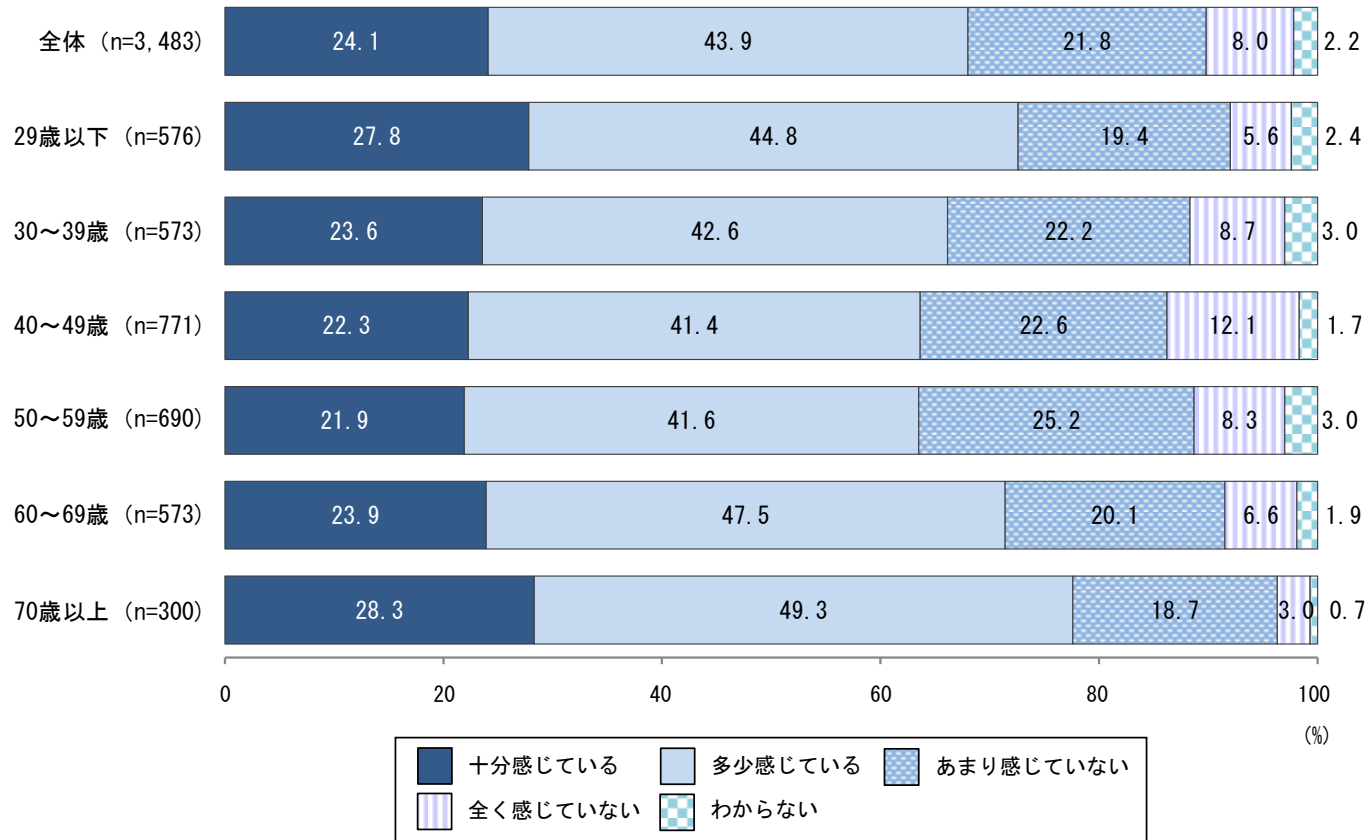
※日常的な悩み有・福祉的な悩み有はそれぞれ回答者全員に聞いている

- 回答者全体に対して、日常的な悩みがあるのは81.7%、福祉的な悩みがあるのは39.4%
- 「安心感あり」は、A>B>Cの順に高くなっている
 - A 回答者全員では 安心感あり(68.0%) 安心感なし(32.0%)
 - B 日常的な悩みがある層は 安心感あり(65.7%) 安心感なし(34.3%)
 - C 福祉的な悩みがある層は 安心感あり(61.8%) 安心感なし(38.2%)

安心感あり(「十分感じている」「感じている」)
 安心感なし(「あまり感じていない」「感じていない」)

【D】集計結果 安心感について

問7 あなたは安心して暮らしていると感じていますか



● 安心感がある人の割合は**68.0%**

● 年代別にみると、70歳代以上(77.6%)、60歳代(71.4%)、29歳以下(72.6%)は平均より高く、30歳～50歳代(64.3%)は低い

【D】集計結果 安心感について

<回答者全員>

		安心あり		安心なし		わからない		総計	
		実数	(シェア%)	実数	(シェア%)	実数	(シェア%)	実数	(シェア%)
相談する人(問17)	いる	2,016	71.2	772	27.3	44	1.6	2,832	81.3
	いない	352	54.1	265	40.7	34	5.2	651	18.7
	計	2,368		1,037		78		3,483	100
家族以外との付き合い (問11) ※選択肢抜粋	会えば挨拶をする人がいる	2,199	69.8	889	28.2	61	1.9	3,149	90.4
	会えば挨拶をする人がいない	169	50.6	148	44.3	17	5.1	334	9.6
	計	2,368		1,037		78		3,483	100
	相談したりされたりする人がいる	1,608	72.4	572	25.8	40	1.8	2,220	63.7
	相談したりされたりする人がいない	760	60.2	465	36.8	38	3.0	1,263	36.3
	計	2,368		1,037		78		3,483	100
	家事やちょっとした用事を依頼し合う人がいる	738	73.9	235	23.5	25	2.5	998	28.7
	家事やちょっとした用事を依頼し合う人がいない	1,630	65.6	802	32.3	53	2.1	2,485	71.3
計	2,368		1,037		78		3,483	100	
社会参加(問12)	している	1,233	74.0	417	25.0	17	1.0	1,667	47.9
	していない	1,135	62.5	620	34.1	61	3.4	1,816	52.1
	計	2,368		1,037		78		3,483	100
助け合いが できている(問14)	できている	752	80.6	177	19.0	4	0.4	933	26.8
	できていない	1,436	63.7	779	34.6	38	1.7	2,253	64.7
	わからない	180	60.6	81	27.3	36	12.1	297	8.5
	計	2,368		1,037		78		3,483	100

【安心感を感じている人】

- 悩みを相談する人 いる(71.2%) いない(54.1%)
- 家族以外との付き合いについて
 - 会えば挨拶をする人 いる(69.8%) いない(50.6%)
 - 相談したりされたりする人 いる(72.4%) いない(60.2%)
 - 家事やちょっとした用事を依頼し合う人 いる(73.9%) いない(65.6%)
- 社会参加 している(74.0%) していない(62.5%)
- 地域で助け合いができていない できている(80.6%) できていない(63.7%)

集計結果(D) 安心感について

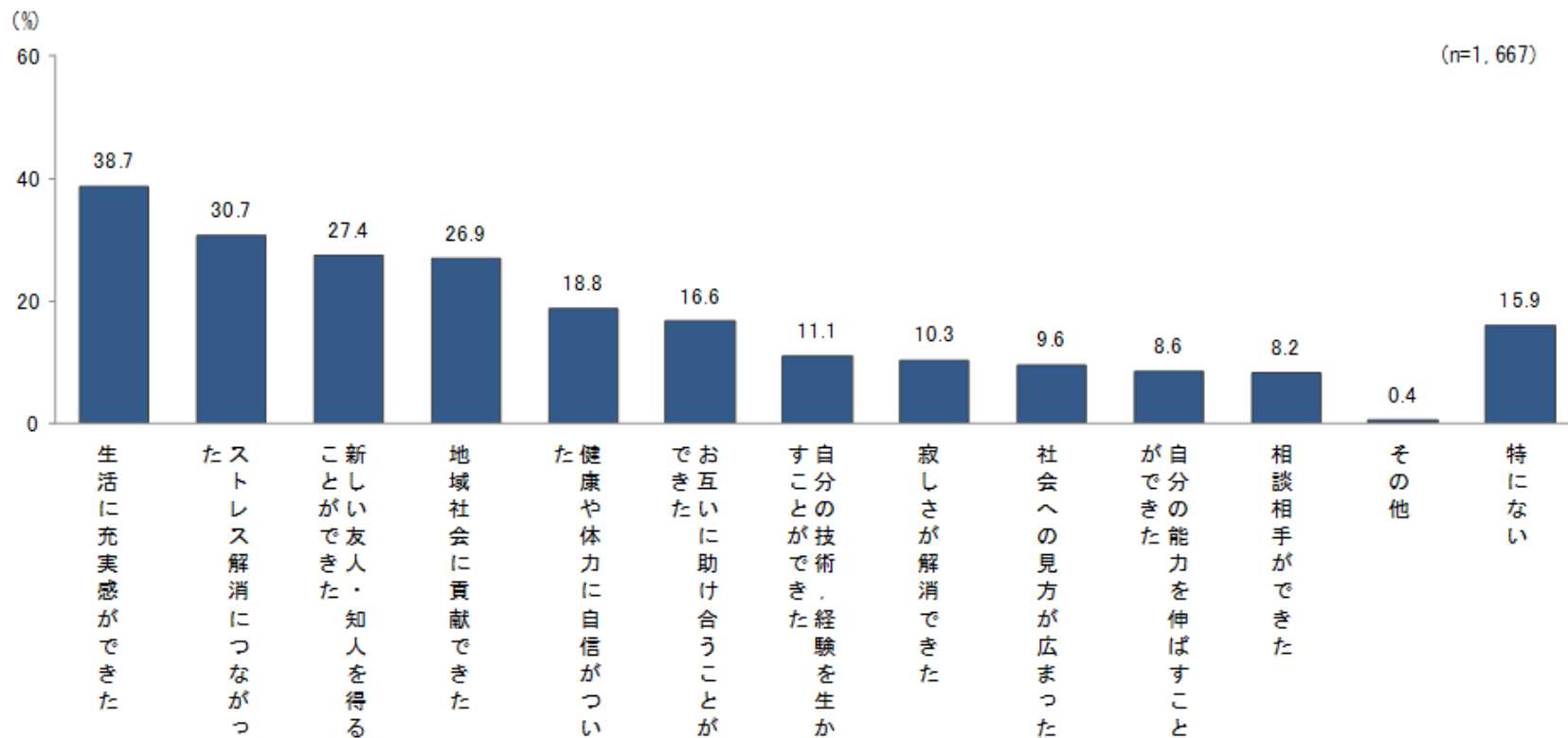
<福祉的な悩みがある層>

		安心あり		安心なし		わからない		総計	
		実数	(シェア%)	実数	(シェア%)	実数	(シェア%)	実数	(シェア%)
相談する人(問17)	いる	757	65.0	388	33.3	19	1.6	1,164	84.8
	いない	91	43.5	113	54.1	5	2.4	209	15.2
	計	848		501		24		1,373	100
家族以外との付き合い(問11) ※選択肢抜粋	会えば挨拶をする人がいる	798	63.6	435	34.7	21	1.7	1,254	91.3
	会えば挨拶をする人がいない	50	42.0	66	55.5	3	2.5	119	8.7
	計	848		501		24		1,373	100
	相談したりされたりする人がいる	587	67.2	272	31.2	14	1.6	873	63.6
	相談したりされたりする人がいない	261	52.2	229	45.8	10	2.0	500	36.4
	計	848		501		24		1,373	100
	家事やちょっとした用事を依頼し合う人がいる	286	68.3	124	29.6	9	2.1	419	30.5
家事やちょっとした用事を依頼し合う人がいない	562	58.9	377	39.5	15	1.6	954	69.5	
計	848		501		24		1,373	100	
社会参加(問12)	している	519	68.3	233	30.7	8	1.1	760	55.4
	していない	329	53.7	268	43.7	16	2.6	613	44.6
	計	848		501		24		1,373	100
助け合いが できている(問14)	できている	319	76.1	99	23.6	1	0.2	419	30.5
	できていない	482	55.3	375	43.0	15	1.7	872	63.5
	わからない	47	57.3	27	32.9	8	9.8	82	6.0
	計	848		501		24		1,373	100

【安心感を感じている人】

- 悩みを相談する人 いる(65.0%) いない(43.5%)
- 家族以外との付き合いについて
 - 会えば挨拶をする人 いる(63.6%) いない(42.0%)
 - 相談したりされたりする人 いる(67.2%) いない(52.2%)
 - 家事やちょっとした用事を依頼し合う人 いる(68.3%) いない(58.9%)
- 社会参加 している(68.3%) していない(53.7%)
- 地域で助け合いができていない できている(76.1%) できていない(55.3%)

問13 趣味・サークルや地域活動に参加してよかったと思うこととしてあてはまるものを選択してください(いくつでも)

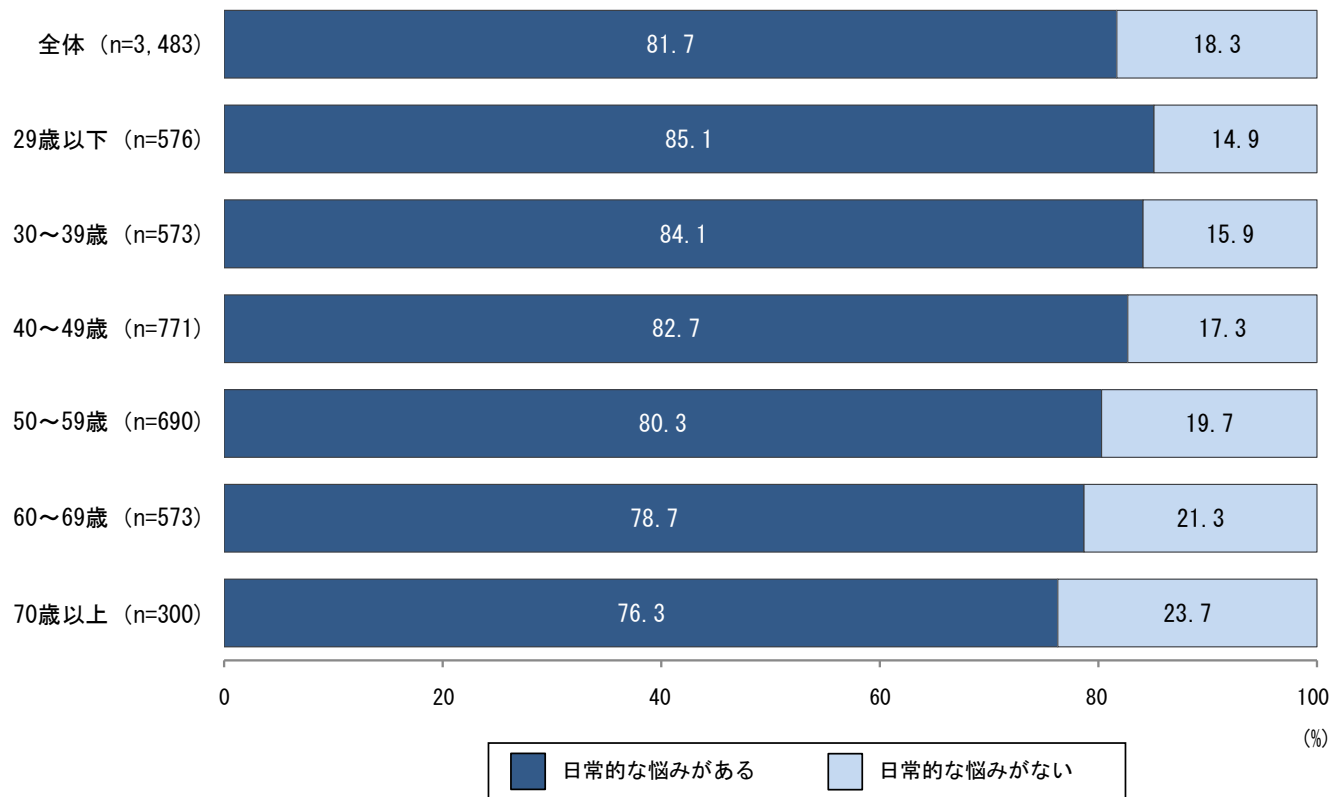


- 参加してよかったと思うことについて、「生活に充実感ができた」との回答が38.7%と最も高く、次いで「ストレス解消につながった」(30.7%)、「新しい友人・知人を得ることができた」(27.4%)などの順となっている

【D】集計結果

日常的な悩みについて

問16 あなたご自身、もしくはあなたの家族の普段の暮らしの中でどのようなことに悩みや不安を感じていますか(いくつでも)
またその中で最も悩みや不安を感じたものを1つ選択してください

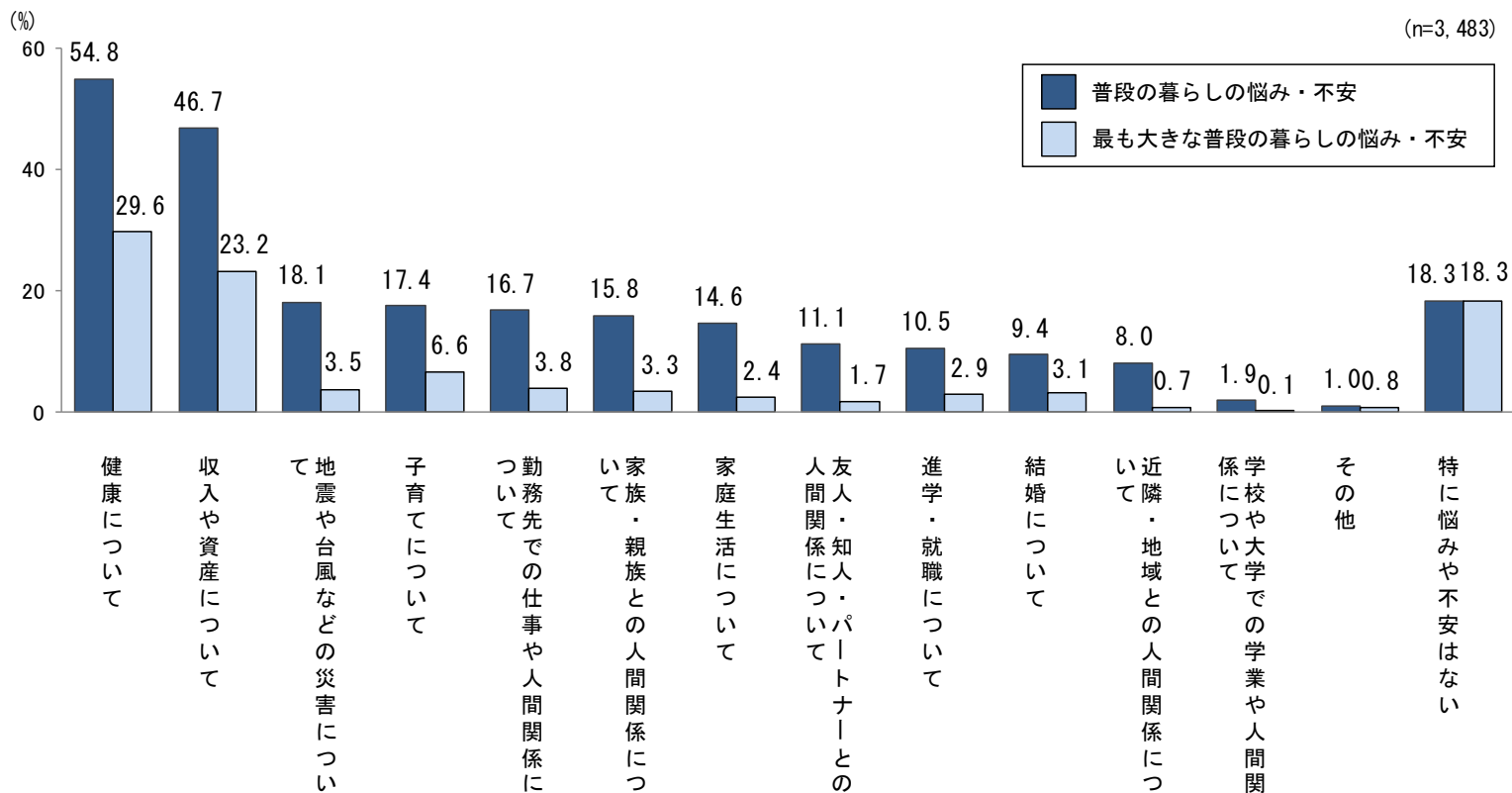


- 日常的な悩みを抱えている人が**81.7%**
- 年代別にみると、29歳以下(85.1%)、30歳代(84.1%)となっており、年代が上がるにつれて、減少する(70歳代以上76.3%)

【D】集計結果

日常的な悩みについて

問16 あなたご自身,もしくはあなたの家族の普段の暮らしの中でどのようなことに悩みや不安を感じていますか(いくつでも)またその中で最も悩みや不安を感じたものを1つ選択してください



- 「特に悩みや不安はない」との回答は18.3%となっており、何らかの悩みや不安があるとの回答が81.7%となっている
- 自分もしくは家族の悩みや不安について、「健康について」との回答が54.8%と最も高く、次いで「収入や資産について」(46.7%)、「地震や台風などの災害について」(18.1%)の順となっている

問17 あなたは悩みや不安をどなたに相談しますか(いくつでも)

	問17.1 悩みや不安を相談する人(MA)									
	家族	その他親族	友人・知人	パートナー	職場の上司・同僚	学校の先生	近所の人	インターネット上の知り合い・友人	その他	特にいない
全体(n=3483)	65.7	14.3	35.4	17.5	12.1	1.4	2.5	1.7	0.5	18.7
29歳以下(n=576)	60.4	12.3	43.8	21.0	15.1	3.8	2.1	3.1	0.3	20.7
30~39歳(n=573)	67.4	15.4	37.2	18.3	14.7	2.3	1.6	1.2	0.3	18.8
40~49歳(n=771)	63.8	13.2	32.7	13.2	17.8	1.4	2.5	2.3	0.3	20.4
50~59歳(n=690)	62.8	11.7	33.6	15.7	11.7	0.4	1.9	1.4	0.6	21.0
60~69歳(n=573)	69.8	16.2	33.0	17.5	5.2	-	3.7	0.5	1.4	16.1
70歳以上(n=300)	76.7	20.7	31.3	24.3	1.3	-	4.3	1.0	0.3	10.0

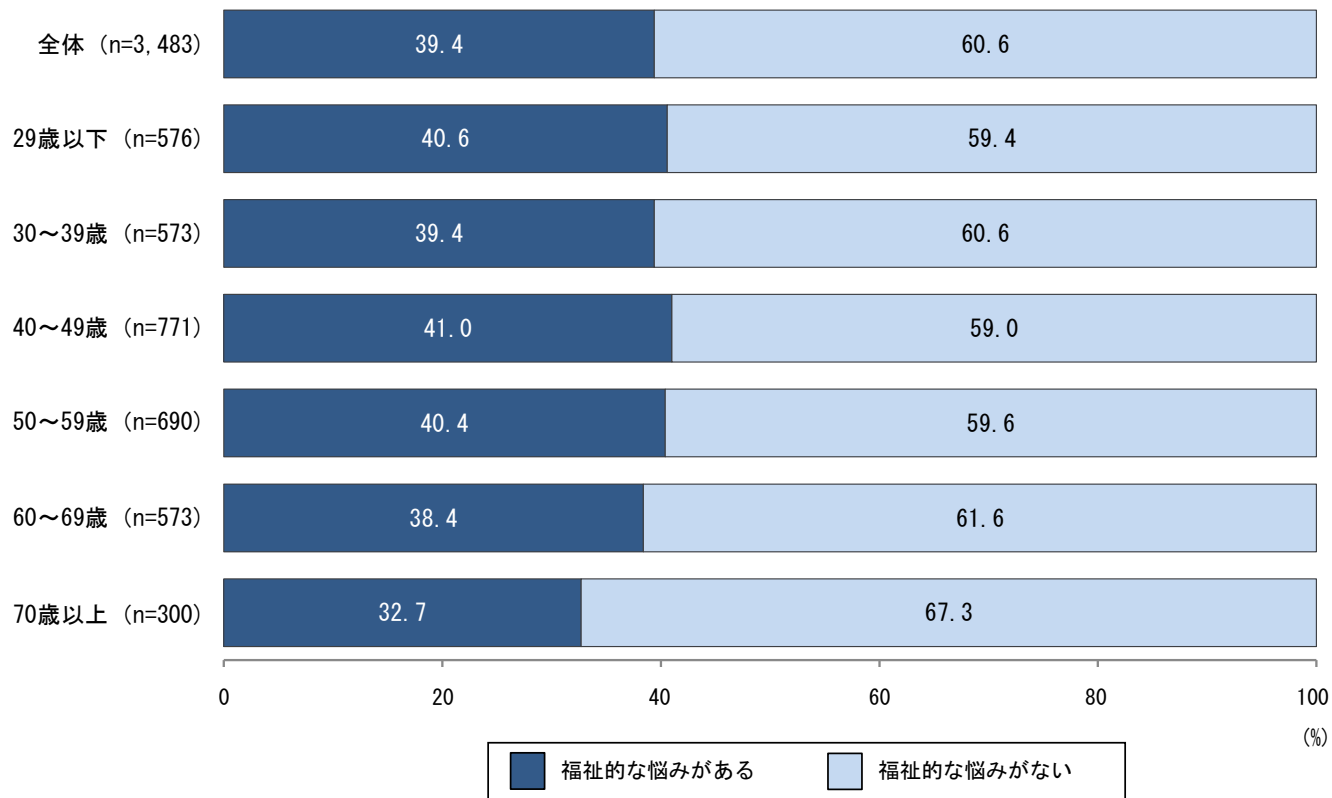
全体の+10ポイント以上

全体の-10ポイント以下

- 年代を問わず、「家族」への相談が多い
- 「インターネット上の知り合い・友人」は29歳以下が最も多いが、3.1%

【D】集計結果 福祉的な悩みについて

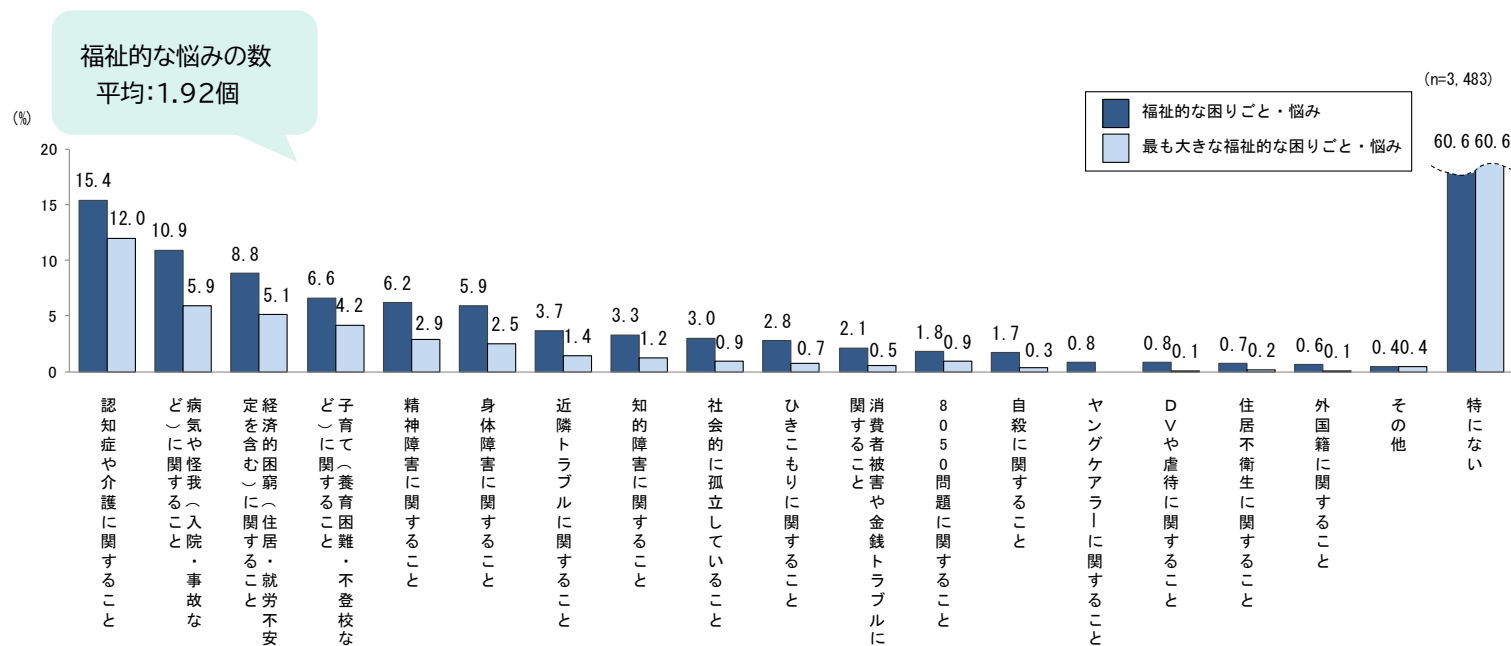
問19 あなたご自身、もしくはあなたの家族の中で、次のような困りごとや悩みを抱えていますか(いくつでも)
またその中で最も困ったことを1つ選択してください



- 福祉的な悩みを抱えている人が**39.4%**
- 年代別にみると、60歳代以下は大きな差異はなく、70歳代以上は32.7%と低い

【D】集計結果 福祉的な悩みについて

問19 あなたご自身、もしくはあなたの家族の中で、次のような困りごとや悩みを抱えていますか(いくつでも) またその中で最も困ったことを1つ選択してください



福祉的な困りごとや悩み(人)	535	204	114	215	230	305	74	129	381	60	99	103	28	29	21	26	62	15	2,110
最も大きな福祉的な困りごと(人)	418	86	41	101	147	178	19	48	206	11	24	31	1	5	4	7	31	15	2,110

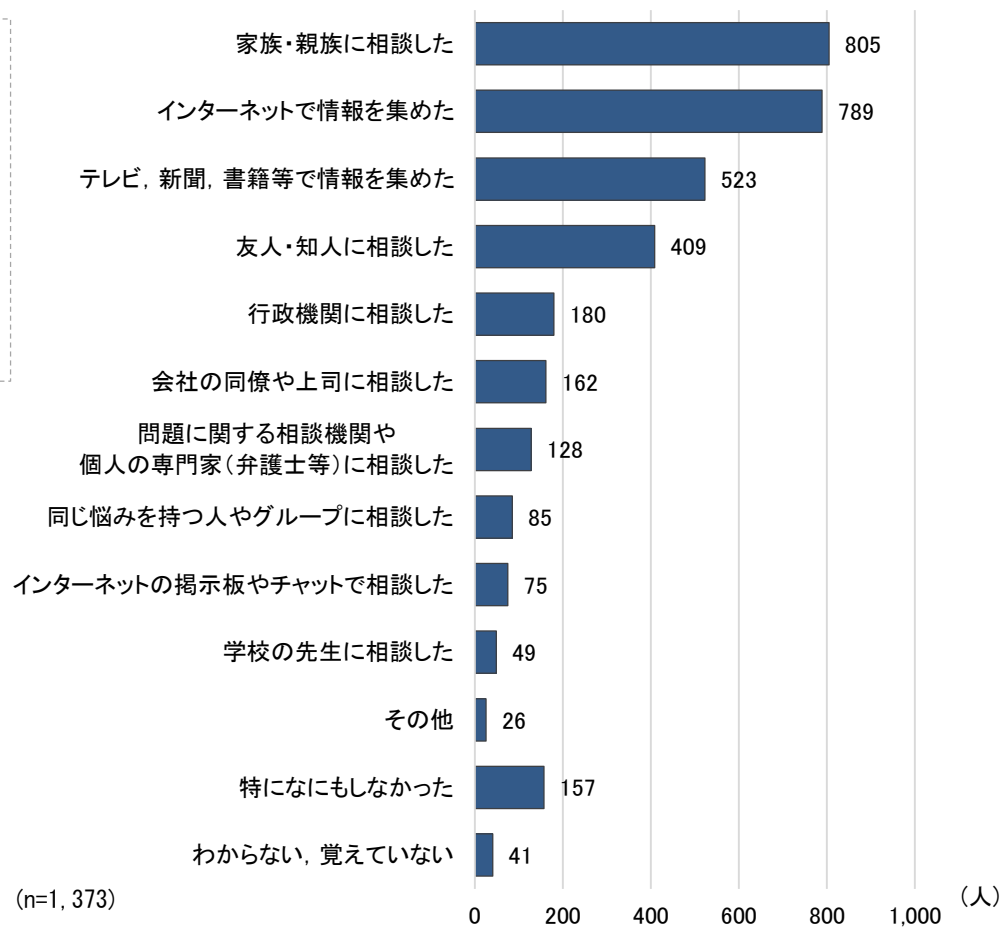
- 「特にない」が60.6%となっており、39.4%の人が何らかの福祉的な困りごとや悩みを抱えている
- 福祉的な悩みがあると答えた人の悩みの数の平均は1.92個
- 自分や家族の困りごとや悩みについて、「認知症や介護に関する事」の回答が15.4%と最も高く、次いで「病気や怪我(入院・事故など)に関する事」(10.9%)、「経済的困窮に関する事」(8.8%)の順となっている

【D】集計結果 福祉的な悩みについて

問20 問19で選択した最も困ったことを解決するために、あなたご自身、もしくはあなたの家族がとった行動としてあてはまるものを行動した順番に3つまでお聞かせください

※1～3番目の合計を集計

- 解決するためにとった行動の上位は
- 「家族・親族に相談した」
- 「インターネットで情報を集めた」
- 「テレビ・新聞・書籍等で情報を集めた」



【D】集計結果 福祉的な悩みについて

問20 問19で選択した最も困ったことを解決するために、あなたご自身、もしくはあなたの家族がとった行動としてあてはまるものを行動した順番に3つまでお聞かせください

(%)

		問20 最も困ったことを解決するためにとった行動（合計）												
		家族・親族に相談した	インターネットで情報を集めた	テレビ、新聞、書籍等で情報を集めた	友人・知人に相談した	行政機関に相談した	会社の同僚や上司に相談した	個人の問題に関する相談機関や個人の専門家（弁護士等）に相談した	同じ悩みを持つ人やグループに相談した	インターネットで相談した	学校の先生に相談した	その他	特になにもしなかった	わからない、覚えていない
全体	(n=1,373)	58.6	57.5	38.1	29.8	13.1	11.8	9.3	6.2	5.5	3.6	1.9	11.4	3.0
年代別	29歳以下 (n=234)	54.3	59.8	41.5	26.5	6.4	14.1	6.4	8.1	9.8	3.4	0.4	12.0	3.8
	30～39歳 (n=226)	53.1	57.1	42.9	27.9	9.3	10.6	6.2	6.6	5.3	8.0	1.3	9.7	6.6
	40～49歳 (n=316)	57.9	58.9	36.1	27.8	13.0	14.2	8.9	4.4	5.4	3.8	1.9	14.2	1.9
	50～59歳 (n=279)	53.8	59.9	33.0	33.0	16.5	15.8	11.1	5.0	6.5	2.2	1.4	11.1	2.2
	60～69歳 (n=220)	66.8	48.6	34.5	32.7	18.2	6.8	13.2	9.5	1.8	1.4	3.2	10.9	2.3
	70歳以上 (n=98)	79.6	61.2	48.0	32.7	17.3	1.0	11.2	2.0	1.0	2.0	5.1	7.1	0.0

1位
 2位
 3位

- 「家族・親族に相談した」(58.6%)、「インターネットで情報を集めた」(57.5%)、「テレビ、新聞、書籍等で情報を集めた」(38.1%)
- 59歳以下では、「インターネットで情報を集めた」が最も高く、60歳以上は「家族・親族に相談した」が最も高い
- 「問題に関する相談機関や個人の専門家(弁護士等)に相談した」は年代が上がるにつれて高くなる傾向
- 「インターネットの掲示板やチャットで相談した」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向

【D】集計結果 福祉的な悩みについて

問20 問19で選択した最も困ったことを解決するために、あなたご自身、もしくはあなたの家族がとった行動としてあてはまるものを行動した順番に3つまでお聞かせください

問21 あなたは問20でとった行動によって、どのように感じましたか(いくつでも)

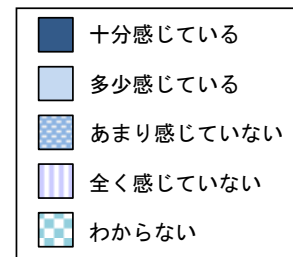
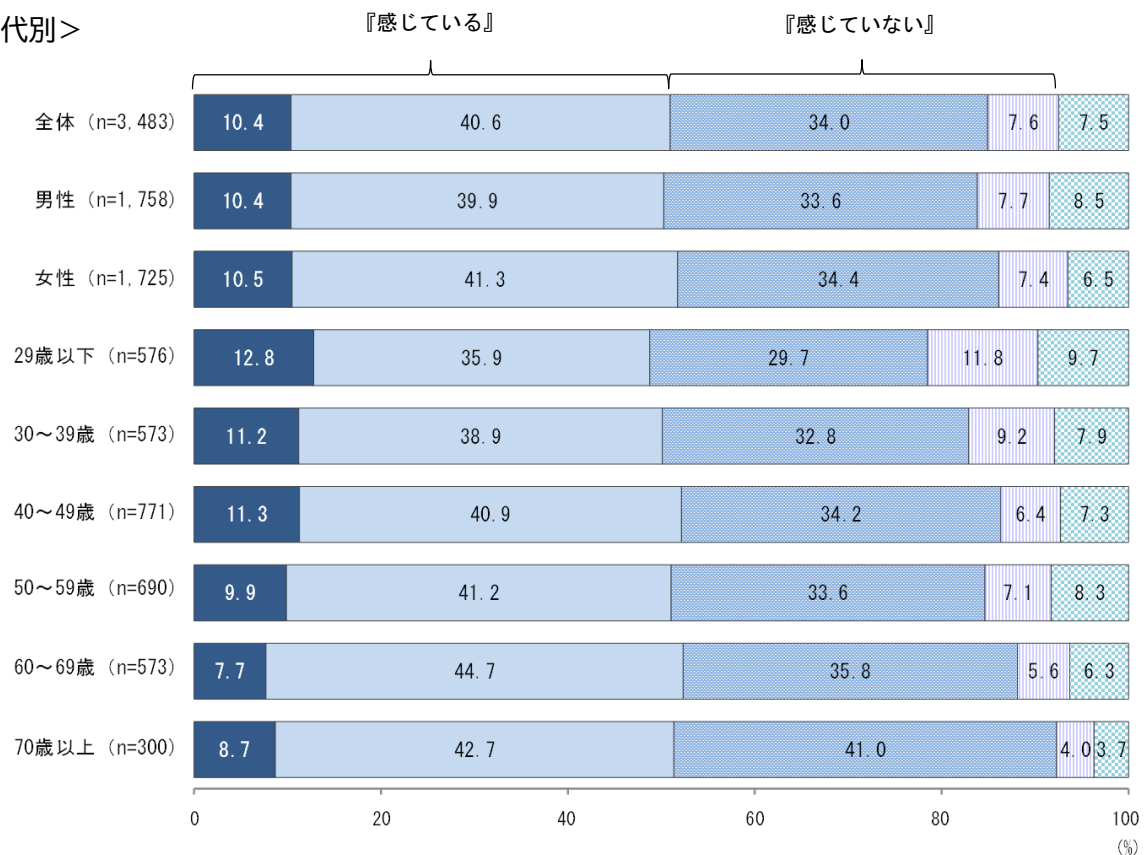
最後にとった行動	問21 とった行動によって感じたこと										
	気持ちが楽になった	新しい知識を持つことができた	自分の考えが整理できた	解決の手掛かりが得られた	視野が広がった	不安を払しょくすることができなかった	解決することができなかった	解決できた	悩みを理解してもらえなかった	その他	
全体 (n=1,175)	35.6	34.3	30.3	25.5	24.9	11.7	11.3	9.5	4.8	0.9	
最も困ったことと行動別	テレビ、新聞、書籍等で情報を集めた(n=170)	35.3	31.8	30.6	23.5	25.9	9.4	11.8	8.8	4.7	-
	インターネットで情報を集めた(n=219)	29.2	33.8	31.1	26.5	24.2	16.0	17.4	6.8	5.9	1.4
	家族・親族に相談した(n=240)	32.5	31.7	24.2	21.3	21.7	15.4	10.8	10.0	2.5	1.3
	友人・知人に相談した(n=168)	43.5	35.1	35.7	25.0	27.4	9.5	10.7	10.7	5.4	-
	会社の同僚や上司に相談した(n=106)	37.7	35.8	34.9	17.0	25.5	5.7	6.6	10.4	3.8	-
	学校の先生に相談した(n=28)	42.9	28.6	25.0	17.9	35.7	17.9	3.6	17.9	7.1	-
	同じ悩みを持つ人やグループに相談した(n=44)	45.5	36.4	20.5	29.5	20.5	9.1	9.1	9.1	18.2	-
	インターネットの掲示板やチャットで相談した(n=40)	30.0	27.5	32.5	12.5	32.5	10.0	12.5	5.0	5.0	-
	問題に関する相談機関や個人の専門家(弁護士等)に相談した(n=51)	29.4	39.2	41.2	52.9	27.5	5.9	7.8	9.8	5.9	2.0
行政機関に相談した(n=94)	39.4	40.4	28.7	39.4	22.3	9.6	8.5	10.6	1.1	2.1	
その他(n=15)	46.7	60.0	26.7	26.7	26.7	13.3	13.3	20.0	-	6.7	

1位 2位 3位

- 全体として「解決できた」(9.5%)は低いものの、「気持ちが楽になった」(35.6%)、次いで「新しい知識を持つことができた」(34.3%)などの効果がみられている
- 「気持ちが楽になった」では「同じ悩みを持つ人やグループに相談した」が最も高い(45.5%)
- 「解決の手がかりが得られた」と感じる行動では、「問題に関する相談機関や個人の専門家に相談した」が最も高い(52.9%)

問22 あなたは悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか

<性・年代別>



● 全体の51.0%が悩みの相談や助けを求めることにためらいを感じている

● 「十分感じている」では29歳以下(12.8%)が最も高い

問23 ためらいを感じる理由をお答えください(いくつでも)

		問23 ためらいを感じる理由											(%)
		相手に負担をかけたくないから	誰・どこに相談したらよいかわからない	自分で解決すべきことだと思うから	心配をかけたくないから	連絡をとることや説明が面倒だから	相談しても解決しないと 思うから	恥ずかしいから	情報がもれるのが心配だから	否定されそうだから	真剣に聞いてもらえなさそうだから	ハードルの高いから 公的機関への相談は	その他
全体	(n=1,776)	44.0	41.0	38.2	34.4	21.4	20.3	18.9	15.0	11.1	11.0	10.2	0.7
年代別	29歳以下 (n=281)	44.8	45.6	40.9	35.6	27.4	16.0	23.5	12.5	19.6	15.3	10.7	0.4
	30~39歳 (n=287)	44.3	49.1	39.4	35.9	25.8	19.9	22.3	12.5	16.0	13.6	10.8	0.3
	40~49歳 (n=402)	46.5	46.5	35.3	36.8	21.6	17.4	20.4	17.7	11.7	9.7	11.7	0.7
	50~59歳 (n=352)	45.5	38.4	35.5	32.1	22.4	24.1	20.2	17.6	8.8	11.6	9.7	0.9
	60~69歳 (n=300)	37.0	32.0	39.0	30.7	14.7	23.0	13.7	14.7	5.0	7.7	10.3	1.3
	70歳以上 (n=154)	46.1	26.6	43.5	35.7	12.3	22.7	7.1	11.7	1.9	6.5	5.8	0.6

■ 1位 ■ 2位 ■ 3位

- 全体ではためらいを感じる理由は、「相手に負担をかけたくないから」(44.0%)、「誰・どこに相談したらよいかわからない」(41.0%)、「自分で解決すべきことだと思うから」(38.2%)などの順となっている
- 年代別では、29歳以下、30歳代、40歳代では「誰・どこに相談したらよいかわからない」が最も高い

【D】集計結果

相談することへのためらい

問22 あなたは悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか

問24 次のうち相談するにあたり、利用しやすい、参加してみたい形があれば選択してください(いくつでも)
また選択した中で、最も利用しやすい、参加してみたい形のものを1つ選択してください

		問24.1 利用しやすい、参加してみたい相談の形(MA)										
		匿名で相談できる	無料で相談できる	予約をしなくても相談できる	声や顔をあかすことなく相談できる	24時間いつでも対応している	SNS等のインターネットを活用して相談できる	同じ悩みを持つ人となが	1人のカウンセラーからの意見だけでなく、たくさんの人の意見がもらえる	地域と関わり深い公的機関(地域包括支援センターなど)が実施してくれる	その他	利用しやすいものはない、参加してみ
全体	(n=3,483)	43.5	39.9	31.5	24.8	24.8	19.3	17.4	14.1	9.1	0.2	27.4
抵抗感への別	感じている (n=1,776)	49.8	42.3	33.8	27.9	25.2	21.3	18.0	14.6	8.1	0.3	22.1
	感じていない (n=1,446)	40.2	40.6	32.2	23.2	26.9	18.7	18.6	15.1	11.4	0.1	26.9
	わからない (n=261)	18.4	19.2	11.5	11.9	10.0	8.4	6.1	4.6	3.1	-	65.9

■ 1位 ■ 2位 ■ 3位

- 相談にためらいを感じている人が利用しやすい、参加してみたい相談の形は、「匿名で相談できる」(49.8%)が最も高く、次いで、「無料で相談できる」(42.3%)、「予約をしなくても相談できる」(33.8%)などの順となっている
- 「利用しやすい・参加してみたいものはない」は全体で27.4%となっている

【D】集計結果

相談することへのためらい

問22 あなたは悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか

問24 次のうち相談するにあたり、利用しやすい、参加してみたい形があれば選択してください(いくつでも) また選択した中で、最も利用しやすい、参加してみたい形のものを1つ選択してください

	問24.1 利用しやすい、参加してみたい相談の形(MA)										
	匿名で相談できる	無料で相談できる	予約をしなくても相談できる	声や顔をあかすことなく相談できる	24時間いつでも対応している	SNS等のインターネットを活用して相談できる	同じ悩みを持つ人とつながれる	1人のカウンセラーからの意見だけでなく、たくさんの人の意見がもらえる	地域と関わり深い公的機関(地域包括支援センターなど)が実施してくれる	その他	利用しやすい、参加してみたいものはない
全体(n=3483)	43.5	39.9	31.5	24.8	24.8	19.3	17.4	14.1	9.1	0.2	27.4
29歳以下(n=576)	51.0	38.9	32.3	29.7	32.8	31.1	19.3	18.6	6.8	0.2	23.1
30~39歳(n=573)	47.8	41.9	34.7	28.6	31.1	24.4	19.0	14.3	5.6	0.3	25.0
40~49歳(n=771)	45.1	38.5	31.9	26.8	24.3	19.3	17.6	12.2	7.0	0.1	28.5
50~59歳(n=690)	43.9	41.4	30.1	22.3	22.6	15.5	18.4	12.5	9.4	0.1	27.0
60~69歳(n=573)	35.3	40.5	30.2	19.9	18.7	10.6	14.1	13.1	12.9	0.2	30.5
70歳以上(n=300)	31.3	36.7	28.0	17.7	15.3	11.7	13.7	15.3	17.3	0.3	32.3

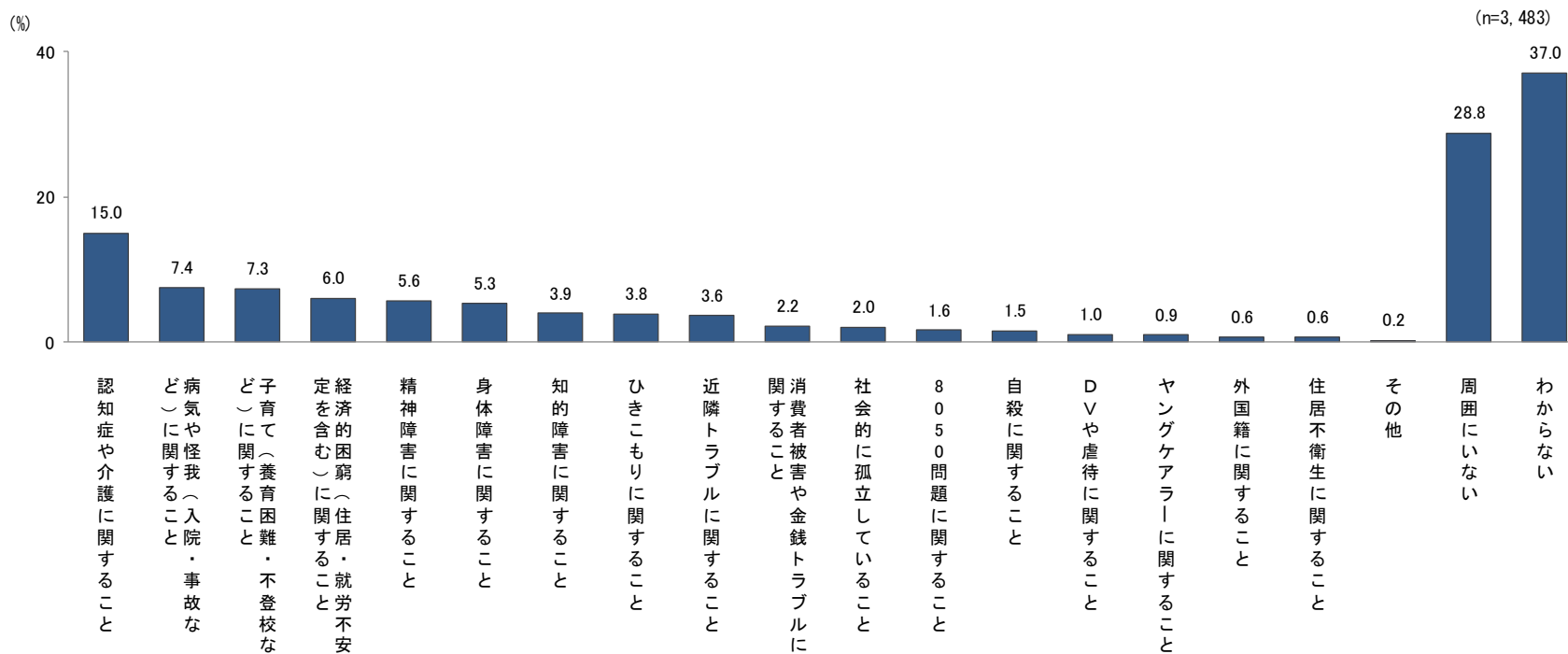
全体の+10ポイント以上

全体の-10ポイント以下

- 29歳以下では、「匿名で相談できる」(51.0%)、「SNS等のインターネットを活用して相談できる」(31.1%)が高い
- 「匿名で相談できる」、「SNS等のインターネットを活用して相談できる」は年代が上がるにつれて、低くなる

【D】集計結果 周囲の悩みについて

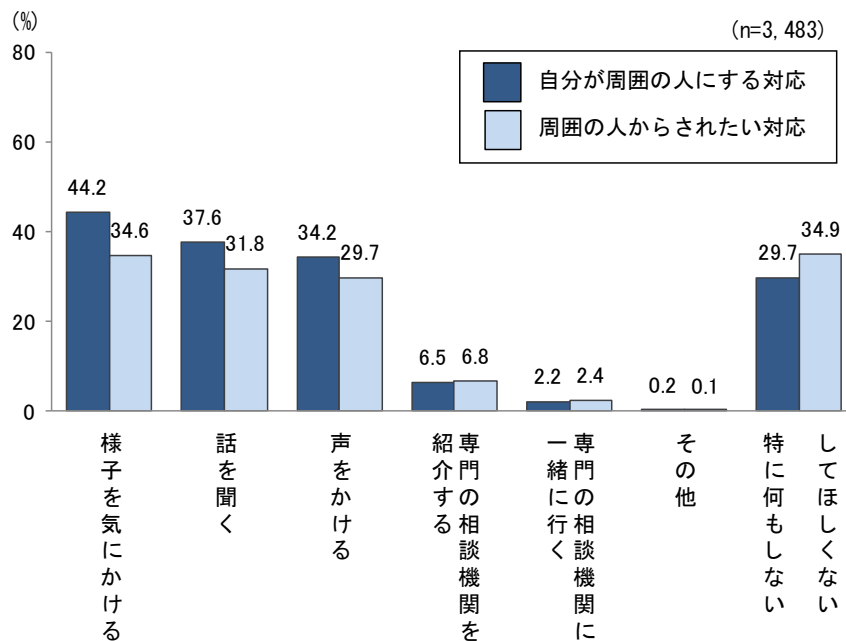
問25 あなたの周囲に、次のような悩みを抱えた人はいますか(いくつでも)
 ※ご家族以外の近隣住民, 知人・友人, 職場の人などについてお答えください



- 「認知症や介護に関する事」との回答が15.0%と高く、次いで「病気や怪我(入院・事故など)に関する事」(7.4%), 「子育て(養育困難・不登校など)に関する事」(7.3%)などの順となっている
- 「わからない」との回答は37.0%と最も高くなっている

【D】集計結果 周囲の悩みについて

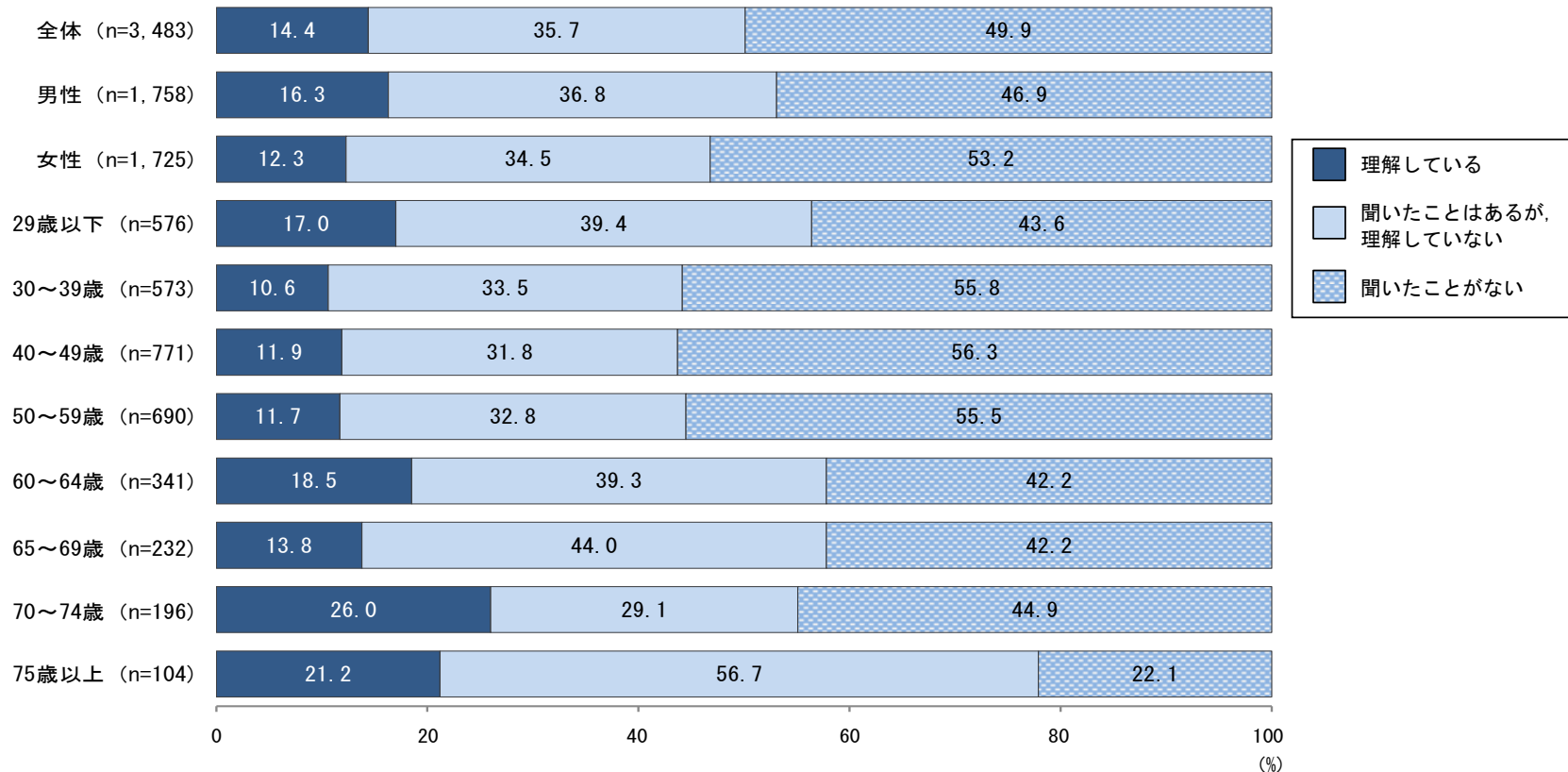
問26 あなたは周囲の人が悩んでいるとき、どのような対応を取っていますか(いくつでも)
※周囲に悩んでいる人がいない場合は、もしもいたらという想定でお答えくださいまた、あなたご自身が悩んでいるときに、周囲の人からされたいと思う対応をお答えください



- 周囲の人にする・されたいともに、「様子に気にかける」、「話を聞く」、「声をかける」の順となっている
- 専門の相談機関の紹介や一緒に行くといった対応は低い数値となっている
- 「特に何もしない/してほしくない」の回答は29.7%、34.9%となっている

問27 あなたは「地域共生社会」という言葉を知っていますかまたこの内容について理解していますか
 ※広島県の考え方「多様性を認め合い支え合いながら自分らしく活躍できる安心と活気あふれる共生のまち広島県」

<性・年代別>



● 地域共生社会について、「聞いたことがない」は49.9%、「聞いたことはあるが、理解していない」は35.7%、「理解している」は14.4%

● 「理解している」では29歳以下、60代以上が高い傾向にある

江波地域

神崎・舟入・江波の3小学校区からなる中区南部の地域

総人口:36,769人(高齢化率:25.9%)

世帯数:19,785世帯

→町内会加入:10,133世帯(50.2%)

【調査E】市町の実情に応じた包括的支援体制・支え合いの実態

<基本情報>

教育機関

小学校:3校 中学校:1校 高等学校:2校

医療機関

病院:2か所 一般診療所:34か所 歯科診療所:15か所

社会福祉法人

2団体

民生委員

神崎:16人 舟入:16人 江波:26人

NPO法人

8団体

主任児童委員

神崎:2人 舟入:2人 江波:2人

福祉委員

設置なし

<支援機関>

江波地域包括支援センター

社会福祉法人 福祉広医会
(相談員数:12人)

<介護保険サービス>

居宅サービス 48か所

地域密着型サービス 13か所

居宅介護支援 12か所

介護予防サービス 1か所

介護保険施設 1か所

<生活支援・見守り>

サロン・集いの場 60団体

認知症カフェ 4か所

Senior citizens
高齢者分野

Difficulty
障害分野

<支援機関>

障害者相談支援事業所

社会福祉法人 福祉広医会
悠悠タウン江波相談支援事業所

<通所支援>

障害児通所支援事業所

9か所(放課後等デイサービスなど)

<就労支援>

就労継続支援A型事業所

3か所(中区)

就労移行支援事業所

6か所(中区)

<支援機関>

子育て世代包括支援センター

広島市中保健センター(中区)

<子育て施設・拠点>

保育所等施設 12か所

児童館 2か所

子育て支援センター

中区地域子育て支援センター(中区)

<児童福祉>

児童相談所

広島市児童相談所(中区)

児童養護施設

なし

Child care
子育て分野

Poverty
生活困窮分野

<支援機関>

生活困窮者自立相談支援機関

中区くらしサポートセンター
(広島市社会福祉協議会)

<就労支援>

公共職業安定所

ハローワーク広島(中区)

労働基準監督署

広島中央労働基準監督署(中区)

基本情報 詳細データ①:江波地域地図

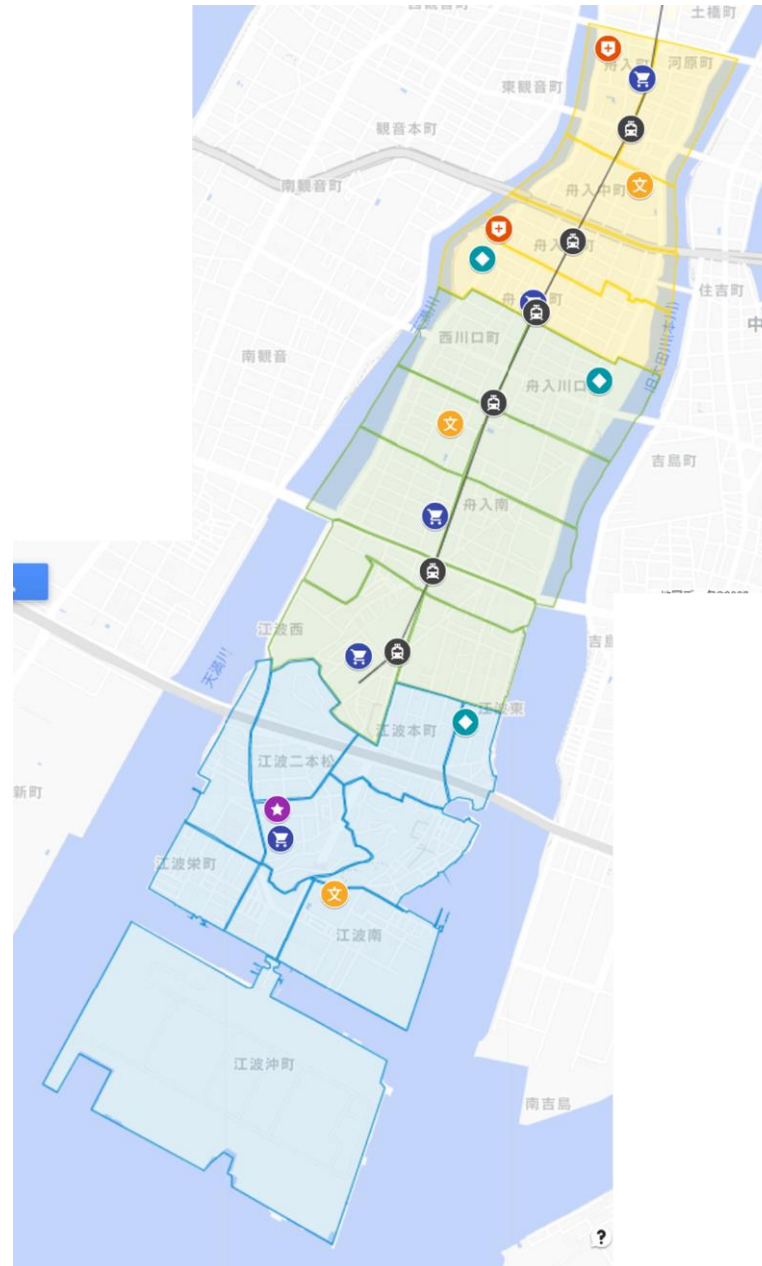
<江波地域地図>

橙エリア:神崎小学校区

緑エリア:舟入小学校区

青エリア:江波小学校区

- ★ 地域包括支援センター
- ◆ 公民館・児童館
- 文 小学校
- 🏥 病院
- 🚶 路面電車停車駅
- 🛒 スーパーマーケット



基本情報 詳細データ②:基礎データ

<人口・世帯>

【江波地域全体】				
総人口	36,769人	—	総世帯数	19,785世帯
65歳以上人口(率)	9,530人	25.9%	核家族世帯数	8,927世帯
75歳以上人口(率)	4,945人	13.4%	単独世帯数	10,095世帯
要介護認定者数(率)	2,026人	21.3%	6歳未満の子どもがいる世帯	1,402世帯
面積	4.33km ²	—	18歳未満の子どもがいる世帯	3,142世帯
人口密度	8,492人/km ²	—	65歳以上の高齢者がいる世帯	6,479世帯
			65歳以上の高齢者のみの世帯	4,450世帯
			65歳以上の高齢者のみの単独世帯	2,784世帯

※江波地域全体の世帯数は国勢調査(R2)より

【神崎】				
総人口	12,015人	—	総世帯数	7,569世帯
65歳以上人口(率)	2,677人	22.3%	町内会加入世帯数(率)	2,614世帯
75歳以上人口(率)	1,311人	10.9%		34.5%
【舟入】				
総人口	13,550人	—	総世帯数	5,536世帯
65歳以上人口(率)	3,587人	26.5%	町内会加入世帯数(率)	2,876世帯
75歳以上人口(率)	1,891人	14.0%		52.0%
【江波】				
総人口	11,204人	—	総世帯数	7,078世帯
65歳以上人口(率)	3,266人	29.2%	町内会加入世帯数(率)	4,643世帯
75歳以上人口(率)	1,743人	15.6%		65.6%

※人口は、広島市学区別人口バックデータ(R4.6末現在)より

<教育機関一覧>

学校区分	数	具体名称	
小学校 (3)	国立	0	
	県立	0	
	市町立	3	神崎小学校 舟入小学校 江波小学校
	私立	0	
中学校 (1)	国立	0	
	県立	0	
	市町立	1	江波中学校
高等学校 (2)	国立	0	
	県立	1	広島商業高等学校
	市町立	1	舟入高等学校
	私立	0	
合計	6		

<町内会・地区社会福祉協議会>

町内会・自治会	33団体
地区・学区社会福祉協議会 (3)	神崎学区社会福祉協議会
	舟入地区社会福祉協議会
	江波地区社会福祉協議会

<社会福祉法人・NPO法人一覧>

法人区分	法人名	所在地
社会福祉法人 (2)	報恩福祉会	神崎
	福祉広医会	江波
NPO法人 (10)	笑顔のひかり	神崎
	カープクラブ	江波
	風の家	神崎
	日韓(韓日)農業・農村文化研究所	江波
	日本ケアリングクラウン協会	神崎
	Pacific Sports Club	神崎
	広商ベンチャーシヨップ	舟入
	フロムヒロシマ	神崎
	Angels	舟入
	心豊かな家庭環境をつくる広島21	神崎

江波地域の特徴①

- 江波地域包括支援センターが地域の拠点となっている
- 対応できる課題に線引きをせず, どんな相談でもまずは話を聞いてからその後の対応を検討
- 地域, 地域住民と信頼関係を構築するために, 住民が集まる場やイベントには積極的に参加
- 住民主体の地域活動が複数拠点で行われており, 地域の支え合い・見守り機能を果たしている

相談支援事業者向けアンケート
〈複合課題の相談経路〉

	江波包括	包括全体(n=86)	相談支援機関全体(n=364)
1位	民生委員・児童委員	本人の家族	本人の家族
2位	アウトリーチ等の中での発見	民生委員・児童委員	介護・福祉等のサービス提供機関
3位	町内会・自治会・地区社協等	介護・福祉等のサービス提供機関	本人
4位	その他の相談支援機関	本人	その他の相談支援機関
5位	知人・友人・近隣住民	医療機関	行政機関

- 江波地域包括支援センターでは, 本人, 本人の家族以外からの相談が多い
- 江波地域包括支援センターでは, アウトリーチでの発見が多い



江波地域包括支援センターが, 意欲的に“地域”と関わろうとしている

江波地域の特徴②

- 住民主体で支え合い活動を運営(R2年～)
- 江波包括支援センターが、活動開始時のキーパーソン調整や、運営上の後方支援の役割を果たしている。

● 多世代交流広場「えん」

対象者 : 地域内外の住民 開催頻度 : 毎週火曜・木曜

活動内容 : 手芸品の作成・販売, パンの販売, 楽器演奏,
おしゃべり, パソコン 等

特徴

- ・世代を問わない出会いや交流の場
- ・自由に過ごせる(決まったプログラムがない)
- ・得意なこと・やりたいことを持ち寄れる
- ・自分の作品を展示・販売できる
- ・売上の一部を運営費に充てて、活動を進めている

★第3の居場所
★支え合い機能
★誰にも役割がある

- ・悩みごとの発散や情報交換ができる
- ・ささいな日常の頑張りを認め合える
- ・得意なことが誰かの役に立つ
- ・参加者同士のゆるやかな見守り
- ・生きづらさを抱える人の早期発見



私の子育て、これでいいんだ。聞いてもらえてよかった♪

■ 販売している手芸品



■ 「えん」の様子



三原市

中国・四国地方の中心にあり、各地域との連携において恵まれた地理的条件を有する

▶ 調査対象:三原市中央包括支援センター地域

<地域コミュニティに関する県民意識調査>

○近隣と方々と「よく付き合っている」割合

三原市…58.3% 広島県…54.3%

○地域活動への参加率

三原市…63.9% 広島県…50.3%

○10年前と比較した際の地域のつながり

三原市…強くなっている 5.6% 弱くなっている 61.1%

広島県…強くなっている 8.6% 弱くなっている 43.5%

▶ 地域活動の参加率は県と比べて高くなっているが、一方で10年前と比較して地域のつながりが弱くなっていると感じている割合も県と比べて高くなっている。

<計画>

地域福祉計画(成年後見制度利用促進基本計画) 策定済み

<行政・保健・福祉>

※1:人口千人当たり
※2:人口10万人当たり

職員数 9.2人(※1)

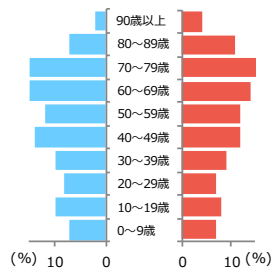
民生委員 252人

医師数 203人(※2)

一般病床数 1,215病床(※2)

<人口構造>

2020 男性 女性



総人口 9.1万人

人口増減率 -6.0%

高齢化率 35.5%

※3:人口10万人当たり

要支援・要介護認定者 6,185人(認定率:19.2%)

障害者 6,634人

ひとり親世帯 3,723世帯

自殺死亡率 11.7%(※3)

外国人住民 2,188人

Political
政治的要因

Economic
経済的要因

Social
社会的要因

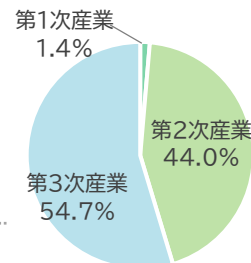
Environmental
環境的要因

<財政>

財政力指数 0.55

将来負担比率 40.6%

市内総生産 422,409百万円



<雇用>

就業者 男性:24,464人 女性:19,645人

生活保護世帯 804世帯

<地勢・交通>

・市内の病院、公共施設等の生活施設は、三原地域、本郷地域の市街地に集積しているが、市内各地にも点在している
・路線バスは、三原市と周辺他市とを連絡する、市内4地域(旧市町)のそれぞれの中心地間(広島空港含む)を連絡する、4地域(旧市町)内を運行する、の3種類に分類できる

公共交通利用率 「路線バスを月1回程度以上利用」:8.7%

<防災>

・森林や河川、海岸などについては、風化花崗岩からなる脆弱な地質のため、土砂災害、台風による暴風、波浪及び高潮並びに津波などによる被害が発生しやすい状況である

土砂災害警戒区域 面積:43.46km²(9.2%)

人家戸数:10,560戸

三原市中央包括支援センター 地域

担当地域(宮浦, 皆実, 西宮, 西野, 頼兼, 明神, 田野浦町, 田野浦, 青葉台, 登町, 沖浦町, 宗郷, 和田, 貝野町)

総人口:23,317人(高齢化率:30.49%)
世帯数:11,409世帯
→町内会加入:6,584世帯(57.71%)

<基本情報>

教育機関	小学校:2校 中学校:1校 高等学校:なし	民生委員数	230人(三原市・定数)
医療機関	病院:2か所 一般診療所:21か所 歯科診療所:17か所	主任児童委員数	22人(三原市・定数)
社会福祉法人	3団体	福祉委員等数	415人(三原市)
NPO法人	4団体		

<支援機関>

三原市中央包括支援センター 三原市医師会の部門

<介護保険サービス>

居宅サービス	34か所	地域密着型サービス	10か所
居宅介護支援	6か所	介護予防サービス	23か所
介護保険施設	3か所		

<生活支援・見守り>

サロン・集いの場 28団体 認知症カフェ 1か所

<支援機関>

子育て世代包括支援センター 子育て世代包括支援センターすくすく(直営)(東部)

<子育て施設・拠点>

保育所等施設 6か所 児童館 1か所(東部)
子育て支援センター 11か所(三原市)

<児童福祉>

児童相談所 なし(三原市) 児童養護施設 なし(三原市)

Senior citizens
高齢者分野

Difficulty
障害分野

<支援機関>

障害者相談支援事業所 Piano2相談支援事業所
相談支援事業所かえで
きぼう相談支援事業所
のぞみ相談支援事業所

<通所支援>

障害児通所支援事業所 10か所(放課後等デイサービスなど)

<就労支援>

就労継続支援B型事業所 6か所
就労移行支援事業所 2か所(東部)
就労定着支援事業所 2か所

<支援機関>

生活困窮者自立相談支援機関 自立相談支援センターみはら(東部)

<就労支援>

公共職業安定所 ハローワーク三原(東部)
労働基準監督署 三原労働基準監督署(東部)

Child care
子育て分野

Poverty
生活困窮分野

基本情報 詳細データ①:三原市地図

<三原市地図>

紫エリア:中央圏域

緑エリア:東部圏域

赤エリア:南部圏域

橙エリア:西部圏域

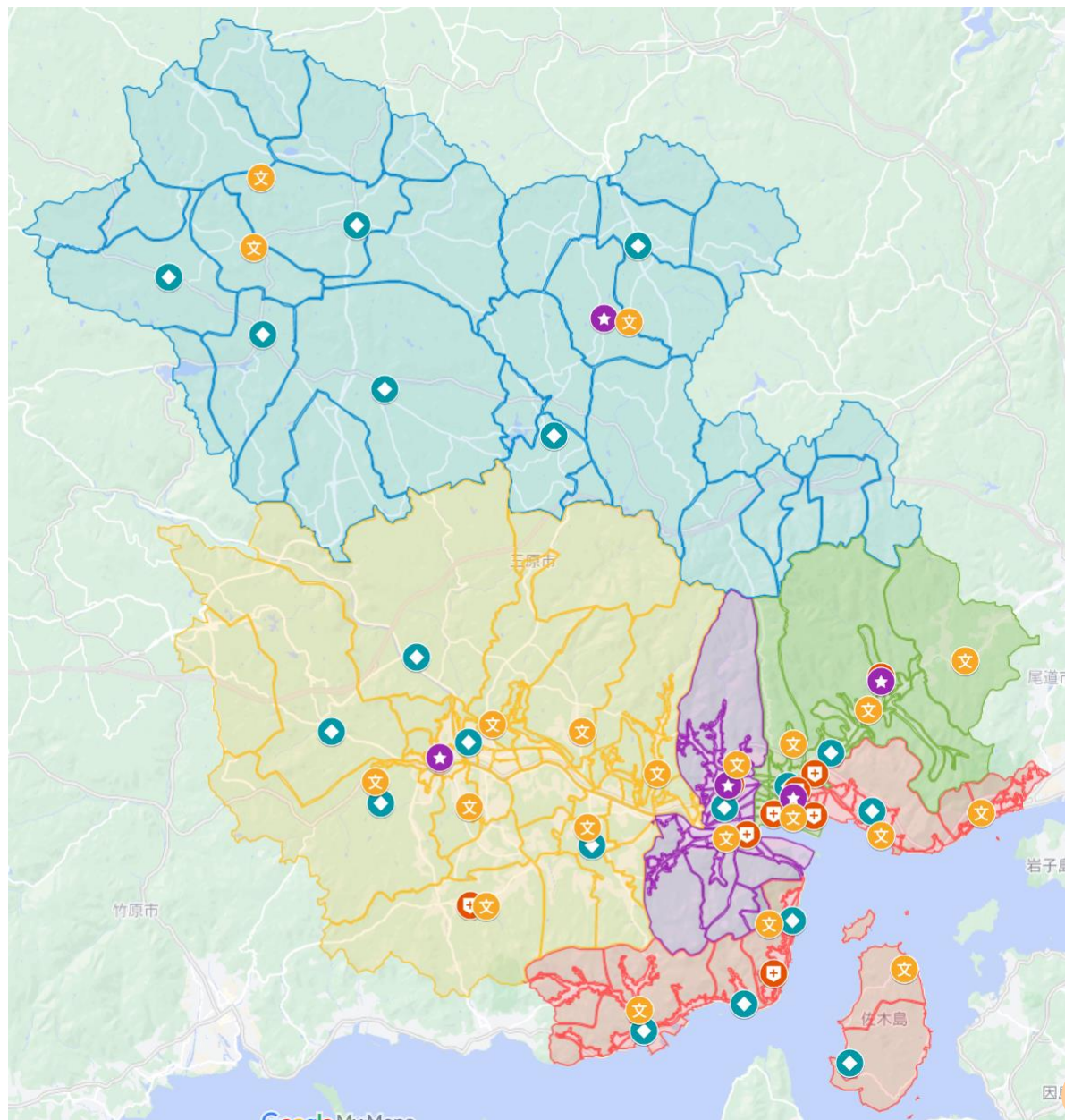
青エリア:北部圏域

★ 地域包括支援センター

◆ 公民館・児童館

文 小学校

⊕ 病院



基本情報 詳細データ②:基礎データ

<人口・世帯> ※三原市全域のデータ

【三原市全体】				
総人口	89,549人	—	総世帯数	38,997世帯
65歳以上人口(率)	32,209人	36.0%	核家族世帯数	22,522世帯
75歳以上人口(率)	17,408人	19.4%	単独世帯数	13,192世帯
要介護認定者数(率)	6,185人	19.2%	6歳未満の子どもがいる世帯	2,598世帯
面積	471.0km ²	—	18歳未満の子どもがいる世帯	7,131世帯
人口密度	190人/km ²	—	65歳以上の高齢者がいる世帯	20,001世帯
			65歳以上の高齢者のみの世帯	12,592世帯
			65歳以上の高齢者のみの単独世帯	6,136世帯

※三原市全体の世帯数は国勢調査(R2)より

【中央】				
総人口	23,317人	—	総世帯数	11,409世帯
65歳以上人口(率)	7,109人	30.5%	町内会加入世帯数(率)	6,584世帯 57.7%
75歳以上人口(率)	3,803人	16.3%		

【東部】				
総人口	18,320人	—	総世帯数	8,876世帯
65歳以上人口(率)	6,186人	33.8%	町内会加入世帯数(率)	5,409世帯 60.9%
75歳以上人口(率)	3,444人	18.8%		

【南部】				
総人口	14,801人	—	総世帯数	7,488世帯
65歳以上人口(率)	6,190人	41.8%	町内会加入世帯数(率)	5,013世帯 67.0%
75歳以上人口(率)	3,366人	22.7%		

【西部】				
総人口	23,485人	—	総世帯数	10,750世帯
65歳以上人口(率)	8,197人	34.9%	町内会加入世帯数(率)	7,400世帯 68.8%
75歳以上人口(率)	4,213人	17.9%		

【北部】				
総人口	9,626人	—	総世帯数	4,497世帯
65歳以上人口(率)	4,527人	47.0%	町内会加入世帯数(率)	3,471世帯 77.2%
75歳以上人口(率)	2,582人	26.8%		

※三原市高齢者福祉課提供(R4.4.30時点)

<住民組織・社会福祉協議会> ※三原市全域のデータ

住民組織数 (町内会・自治会等)	509
社会福祉協議会	社会福祉法人 三原市社会福祉協議会

<社会福祉法人・NPO法人一覧>

法人区分	法人名	所在地
社会福祉法人 (4)	社会福祉法人三誓会	皆実4丁目9-5
	社会福祉法人さくら学園	宮浦6丁目21-12
	社会福祉法人三原のぞみの会	明神3丁目16-20
	社会福祉法人風和会	皆実1丁目21番5号
NPO法人 (3)	Piano Piano	宮浦3丁目6番2号
	フォレストサポートクラブ	頼兼二丁目4番20号
	もも	宮浦6丁目15番23号

<教育機関一覧>

学校区分	数	具体名称
小学校 (2)	国立	
	県立	
	市町立	2 西小学校 田野浦小学校
中学校 (1)	国立	
	県立	
	市町立	1 宮浦中学校
高等学校 (0)	国立	
	県立	
	市町立	
私立		
合計	3	

三原市の包括的相談支援体制

① 高齢者及び障害者への虐待並びに配偶者からの暴力防止ネットワーク協議会

【三原市行政】

(生活環境部)

生活環境課

人権推進課

⋮

(教育委員会)

教育振興課

学校教育課

生涯学習課

⋮

(保健福祉部)

保険医療課

児童保育課

子育て支援課

社会福祉課

高齢者福祉課

保健福祉課

子育て世代包括支援センター
すくすく(子ども)

相

【三原市社会福祉協議会】

(福祉支援課)

相 自立相談支援センターみはら(困窮)

相 障害者生活支援センタードリームキャッチャー(障害)

相 障害のある人の就労応援相談ステーション(障害) R5~

相 権利擁護連携支援センター(権利擁護)

相 地域共生センター(重層的支援体制整備事業) R5~

相 ひきこもり相談支援ステーション(ひきこもり支援) R5~

(地域福祉課)

生活支援コーディネーター(高齢)

③ 重層的支援体制整備に向けた事務局会議



④ 社協・地域包括連絡会議
(毎月開催 地域課題、個別ケースなどの情報交換)
※行政(保健師)は2センター(3会議)との会議に参加

【市外の資源等】

世羅病院

ふくやま 地域若者サポートステーション

尾道人権擁護委員協議会

広島法務局尾道市支局

広島県精神保健福祉士協会

⋮

【市内の資源等】

相 【三原市地域包括支援センター】

三原市高齢者相談センターどりいむ(東部地域)

三原市高齢者相談センター三恵苑(南部地域)

三原市高齢者相談センター三原市医師会(中央地域)

三原市高齢者相談センター大空(西部地域)

三原市高齢者相談センターはーもにー(北部地域)

民生委員児童委員

司法書士・行政書士事務所

弁護士事務所

県立広島大学

医療福祉法人

社会福祉法人

NPO法人

三原警察署

一般企業

...

② 権利擁護に係る地域連携ネットワーク実務代表者会議

※ 各会議体の構成員は、大まかな括りであり、詳細については、9ページを参照。
※ 相 は、相談支援機関を担っている。

三原市の包括的支援体制の特徴①

■ 行政と社会福祉協議会が包括的支援体制の事務局を担っている

● 4つの会議体を中心に包括的支援体制を網の目のように展開

● 三原市社会福祉協議会が「障害」、「生活困窮」、「権利擁護」の3つの相談支援機関を担っている

★権利擁護の体制が充実 ★令和5年度から地域共生センターが新設

● 社会福祉協議会、地域包括支援センター、行政(2センター(3会議)との会議に参加)で定期的(月1回)に情報共有が行われており、目線合わせ、支援方針の意見交換が図られている。

同一施設に集約され
⇒顔の見える関係、気軽に相談できる！
⇒分野横断的連携がしやすい！
⇒複合的課題に対応しやすい！

①高齢者及び障害者への虐待並びに
配偶者からの暴力防止ネットワーク協議会

【特徴】

- 議題、構成員が分野横断的な会議となっている
- 三原市内だけではなく、三原市外の機関、資源も連携が図れている

【今後の展開】

- 様々な会議体の課題を共有するための会議体に発展させていくことを検討

③重層的支援体制整備に向けた事務局会議

【特徴】

- 三原市保健福祉部全課が構成員となっている
- 三原市社協の3つの相談支援機関・窓口と地域に近い生活支援コーディネーターが構成員となっている

【今後の展開】

- 既存の各種会議体を整理統合し、重層的支援会議、支援会議としていくことを検討

②権利擁護に係る地域連携ネットワーク実務代表者会議

【特徴】

- 権利擁護だけではなく、生活困窮者への支援を推進する目的も併せ持っている
- 法律事務所や司法・行政書士など、司法関係機関も連携が図れている

【今後の展開】

- 重層的支援において、権利擁護の視点で一体的に協議できる場として機能させていく

④社協・地域包括連絡会議

【特徴】

- 社会福祉協議会、地域包括支援センター、行政(2センター(3会議)との会議に参加)が定期的に情報共有を実施
→ 目線合わせ、支援方針の意見交換

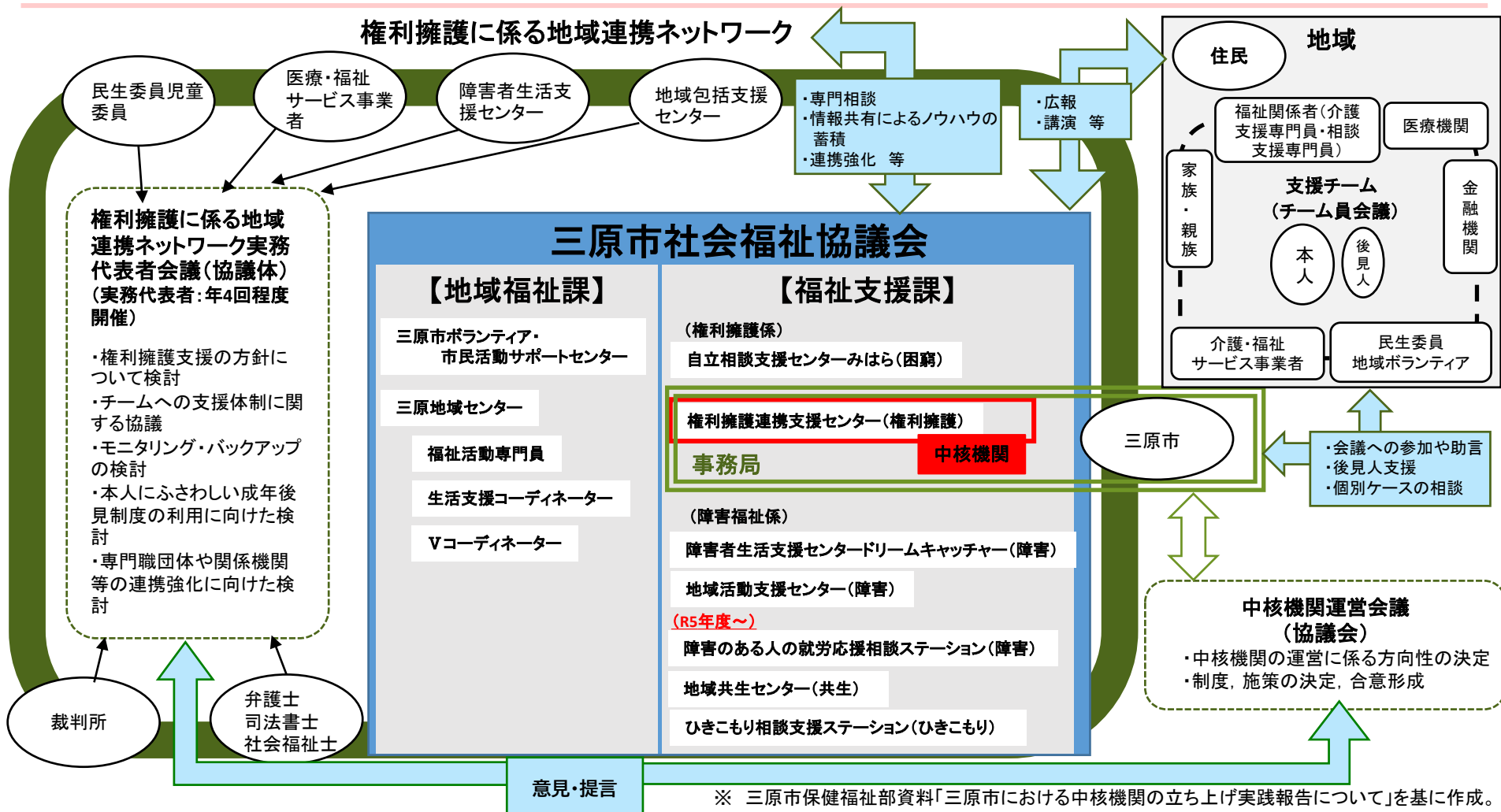
【今後の展開】

- 継続実施

三原市の包括的支援体制の特徴②

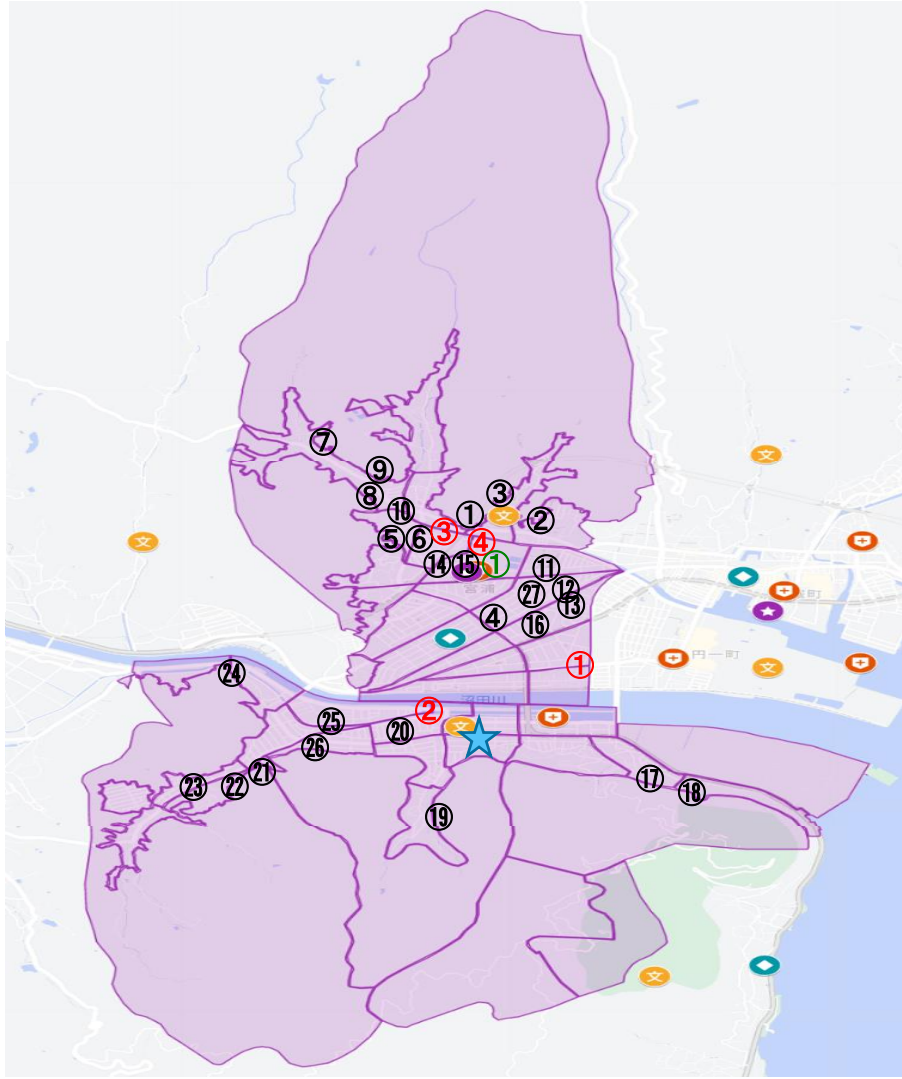
会議名	開催頻度	分野					主催	メンバー	特徴
		高齢	障害	子ども	困窮	権利擁護			
① 高齢者及び障害者への虐待並びに配偶者からの暴力防止ネットワーク協議会	1回/年	●	●	●	○	●	三原市(高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・県立広島大学 ・三原市地域包括支援センター ・介護保険施設 ・社会福祉士会 ・弁護士会 ・三原市介護支援専門員連絡協議会 ・認知症の人と家族の会 ・地域密着型サービス事業所 ・三原市社会福祉協議会 ・三原市医師会 ・三原市民生委員児童委員連合協議会 ・養護老人ホーム ・広島法務局尾道支局 ・広島県東部厚生環境事務所 ・三原警察署 ・尾道人権擁護委員協議会 ・広島県こども家庭センター ・三原市地域自立支援協議会 ・広島県精神保健福祉士協会 ・三原市(高齢者福祉課, 社会福祉課, 保健福祉課) 	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待, 障害者虐待, 配偶者からの暴力を受けている者の早期発見及び適切な保護を図ることを目的とし, 関係機関等の情報交換, 支援内容についての協議を実施。 ・本会議の下には, 「高齢者虐待担当者会議」(高齢分野), 「自立支援協議会権利擁護部会」(障害分野)がある。 <p>〔今後の展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は, 三原市で実施している 様々な会議体の課題を共有するための会議体に発展されていくことを検討中。
② 権利擁護に係る地域連携ネットワーク実務代表者会議	4回/年	●	●	●	●	●	三原市(高齢者福祉課, 三原市社協)	<ul style="list-style-type: none"> ・県立広島大学 ・三原みなと法律事務所(弁護士会推薦) ・あんどゆうぎ司法書士・行政書士事務所(司法書士会推薦) ・社会福祉法人松友福祉会寿波苑(三原市社会福祉法人連絡協議会推薦) ・高齢者相談センターどいむ(三原市地域包括支援センター推薦) ・NPO法けんけん・ま(三原市地域自立支援協議会推薦) ・医療法人仁康会小泉病院(精神科医療相談に携わるものからの推薦) ・どいむ 居宅介護支援事業所 ・広島県社会福祉協議会あんしんサポートセンターかたけし ・三原市(高齢者福祉課, 社会福祉課, 保健福祉課) ・三原市社協(権利擁護連携支援センター) ・家庭裁判所(オブザーバー) 	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者, 知的障害者, 精神障害者等の権利擁護に係る諸課題, また既存の制度で解決困難な複合的課題をもつ生活困窮世帯への支援を推進するため, 関わる行政機関, 民間団体等で地域連携体制を構築し, 法的根拠や専門的知見から意見交換, 協議及び行政への提言等を行うことを目的とし, 個別事例の進捗管理, 新たなケースの検討, 自立相談支援センターの状況などについて協議を実施。 ・複合的課題をもつ生活困窮世帯への支援を推進する目的を併せ持っている。 ・行政(高齢者福祉課)と市社協で共同事務局として運営。 <p>〔今後の展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業において, 権利擁護の視点で一體的に協議できる場として機能させていく。
③ 重層的支援体制整備に向けた事務局会議	1回/2か月	●	●	●	●	●	三原市(高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・三原市(保健福祉課, 社会福祉課, 高齢者福祉課, 保健医療課, 児童保育課, 子育て支援課) ・三原市社会福祉協議会(福祉支援課(障害者生活支援センター・ドリームキャッチャー, 自立相談支援センター・みばら, 権利擁護連携支援センター), 地域福祉課(生活支援コーディネーター)) 	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の狭間の課題や, 世帯に覆道する課題により解決が困難な事例の共有, 支援方針の検討を行うことを目的とし, 個別事例の受理, 支援方針, 終結状況の共有についての協議を実施。 ・また, 重層的支援体制のあり方についても検討。 <p>〔今後の展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業の実施に向け, 既存の各種会議体を整理統合し, 重層的支援会議, 支援会議の設置を進めていく。
④ 社協・地域包括連絡会議	1回/月	●	○	○	○	●	三原市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・三原市社協 ・三原市地域包括支援センター(三原市高齢者相談センターどいむ, 三原市高齢者相談センター三恵苑, 三原市高齢者相談センター三原市医師会, 三原市高齢者相談センター大空, 三原市高齢者相談センター(まーもにー)) ・三原市(保健福祉課保健師) 	<p>〔現状〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協, 地域包括支援センター(全5センター), 行政(2センター(3会議))との会議に参加が情報共有(地域課題や個別ケース検討等)を定期的に行うことで, 目線合わせ, 支援方針の意見交換を行っている。 <p>〔今後の展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続実施。

三原市社会福祉協議会の権利擁護に係るネットワーク



- 福祉支援課は、生活困窮、権利擁護と障害福祉の業務を主に担っており、同じ課内で3分野を担うことで、**「権利擁護」の視点**から一貫して対応できる相談体制となっている。
- 地域福祉課は、主に地域づくり業務を担っており、自治会長、民生委員等の地域のキーパーソンとの関係性の中から「気になる世帯」等を発見し、福祉支援課と連携しながら**地域と共に伴走支援**を行っている。
- 権利擁護に係る地域連携ネットワークを構築し、既存の会議やネットワークと連携。
⇒ **包括支援センターや居宅介護支援事業所、障害者相談事業所等との連携強化**

三原市住民主体活動について(中央地域包括支援センター圏域)



【ふれあい・いきいきサロン】

① あすなるサロン西宮	⑮ どんぐり会
② ひまわり会	⑯ 宮浦長寿サロン
③ 小浦いきいきサロン	⑰ 和田元気くらぶ
④ ふれあい・いきいきサロン頼兼	⑱ 貝野若がえりサロン
⑤ 梅林「四ツ葉会」	⑲ サロン江南
⑥ 梅林「もみじ会」	⑳ なごみ会
⑦ むつみ会	㉑ 田野浦清風サロン
⑧ 新大西まるいけ会	㉒ 第三さくら会
⑨ 西野小西	㉓ 青葉台寿クラブ
⑩ よつば会小西口	㉔ いきいきサロン明神
⑪ さわやかサロン	㉕ ハッピーサロン
⑫ みどりサロン	㉖ ゆうゆう会ふれあいサロン
⑬ いきいきサロンひまわり	㉗ 皆実1丁目すぎなサロン
⑭ いきいきサロン宮浦北	

【地域子育て支援サロン／子ども食堂】

① わんわんサロン	③ 梅の里 西野
② 田の浦わいわいキッズ	④ こども食堂 福ふく食堂

【地域見守り活動】

西野大西町内会(連絡会議年3回実施)

【認知症カフェ】

① すずらんカフェ

【地域課題共有の場】

★ ワンチーム田野浦校区

【当事者グループ】(社協登録団体)

- ・サボテンの会
- ・三原市手をつなぐ育成会
- ・三原断酒友の会
- ・認知症の人と家族の会 等, 三原市全域に32団体

● 圏域内外で多くの住民主体活動があり、三原市社会福祉協議会で一覧にされている。

⇒ 三原市社会福祉協議会, 地域包括支援センター, 圏域内の専門職等とが連携し, 本人の希望を聞き, 住民活動等への相談・調整を実施。

● 活動者や専門職のほか, 多様な機関と連携し, 「相談・つなぎ・支援」を実施。

ワンチーム田野浦校区の取組①

- 田野浦小学校区内での気になることや身近な課題が集約・共有されるプラットフォーム群の運営体制を構築

【経緯】

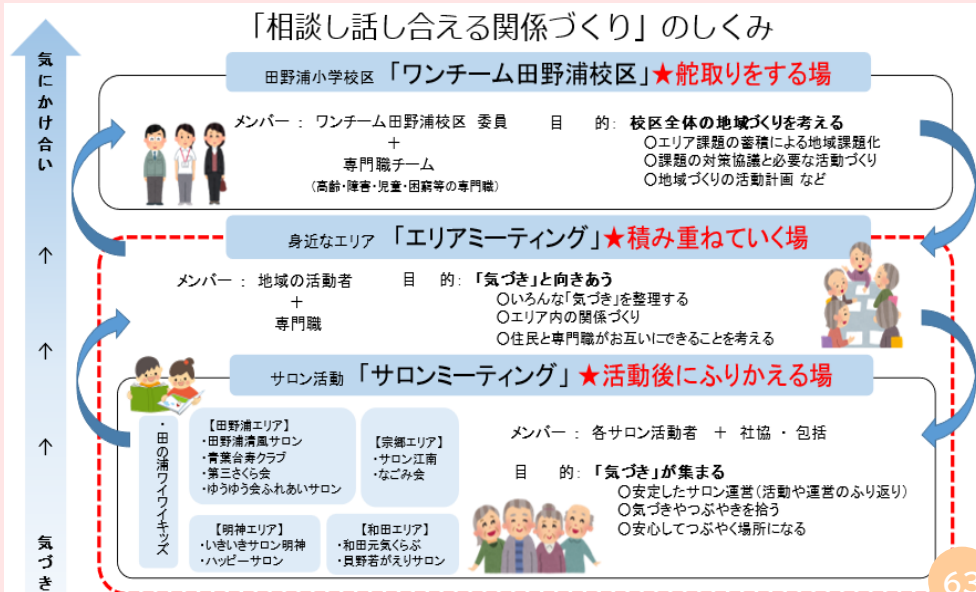
- 住民自治協議会等の連合組織はなく、町内会や民生委員、高齢者サロンなどの活動が各々行われており、地域課題もそれぞれで抱えていたが解決に繋がっていなかった
- 自治会長、民生委員、住民活動者等の関係性構築のため、平成29年度から生活支援コーディネーターの後押しで、サロン交流会や地域福祉懇談会などを実施
- 課題解決への地域ぐるみの仕組みの必要性から、平成31年度に協議体立ち上げ準備会を発足させ、令和2年度からワンチーム田野浦校区の活動を開始する

【地域課題の整理】

- 校区内の地域課題を6つに整理
 - ①防災、②世代間格差、③自治会運営
 - ④福祉啓発、⑤気になる世帯、⑥集いの場
- 意見交換を重ね、優先順位を決定。
 - ⇒「気になる世帯」への対応について検討

【スローガン】

「誰ひとり孤立させない」



ワンチーム田野浦校区の取組②

- 三原市社協の生活支援コーディネーターの後押しで、自治会、民生委員、サロン活動者、福祉専門職がつながる仕組みづくりに発展

ワンチーム田野浦校区の取組

(気づき・課題)

- ・専門職間で悩みや課題、解決策などを相談できる場の必要性
- ・校区内の福祉事業所が分野を問わない身近な相談受付窓口となり得る意識の醸成

【専門職連携会議】(2回/年)

参加者 : (高齢)居宅介護事業所, グループホーム, 地域密着型デイサービス, 通常デイサービス, 小規模多機能, 訪問介護事業所

(障害)相談支援事業所

(事務局)行政, 社協, 包括

内容 : ・専門職同士および地域との連携

(民生委員座談会の意見共有
ワークショップ等)

・相談窓口機能づくり



2月20日開催の専門職連携会議の様子

(気づき・課題)

- ・民生委員同士が地域状況の把握、支援が必要な人の情報を共有する場が必要

【民生委員座談会】(2回/年)

参加者 : 民生委員・協力員, 社協, 包括

内容 : ・早期発見・つなぎの相談支援体制づくり

(民生委員と福祉専門職の取組みや動きの共有, 個別支援の相談, 対応検討等)

(気づき・課題)

- ・住民に身近で相談しやすい環境づくりの整備が必要

【自治会座談会】(1回/月, 1回/年(自治会によって異なる))

参加者 : 自治会役員, 民生委員, サロン活動者(19自治会のうち6自治会で実施)

内容 : ・気になる世帯を把握・共有

・気になる世帯への対策を考える

サロンミーティングを発展!
地域・個別課題をより発見しやすいように

安芸太田町

太田川の上流に位置し、自然と共に暮らす歴史のある町

日常生活圏域: 3圏域
(加計・筒賀・戸河内)

<地域コミュニティに関する県民意識調査> ※安芸太田町 n=10 広島県 n=853

○近隣と方々と「よく付き合っている」割合

安芸太田町…80.0% 広島県…54.3%

○地域活動への参加率

安芸太田町…60.0% 広島県…50.3%

▶近隣の方とよく付き合っている割合や地域活動の参加率が県と比べて高くなっている

<計画>

地域福祉計画(成年後見制度利用促進基本計画) 策定済み(R4)

<行政・保健・福祉>

※1:人口千人当たり
※2:人口10万人当たり

職員数 21.7人(※1)

民生委員・主任児童委員 45人

医師数 216人(※2)

一般病床数 882病床(※2)

Political
政治的要因

Economic
経済的要因

<財政>

財政力指数 0.20

将来負担比率 36.6%

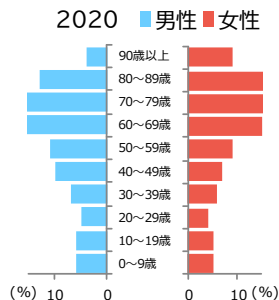
市内総生産 18,036百万円

<雇用>

就業者 男性:1,631人 女性:1,322人

生活保護世帯 14世帯

<人口構造>



総人口 0.6万人

人口増減率 -11.3%

高齢化率 52.1%

要支援・要介護認定者 722人(認定率:23.3%)

障害者 571人

ひとり親世帯 237世帯

自殺死亡者 2人

外国人住民 42人

Social
社会的要因

Environmental
環境的要因

<地勢・交通>

- ・主要施設は、南部を中心に分布(特に幹線道路に集積)。
- ・公共交通は、路線バス、町内バス、乗合型デマンドタクシーで構成されており、広域を移動する際には、乗継が必要。
- ・路線バスの利用状況をみると、町内移動と広島市への移動を担う三段峡線(在来線)は運行便数が多く、乗車人員も多い。

公共交通利用率 「路線バスを月1回程度以上利用する」:
31.3%

<防災>

- ・複雑で急峻な地形上、台風や梅雨前線の通過時に多量の雨が降りやすく、各支流の出水が一時に太田川本流に集まるため洪水の発生及び急峻山地の崩壊流出等のおそれ有り。

土砂災害警戒区域 面積:15.56km²(4.6%)
人家戸数:2,240戸

安芸太田町

加計・筒賀・戸河内の3圏域からなる

総人口:5,740人(高齢化率:52.1%)

世帯数:2,577世帯

→町内会加入:80%

<基本情報>

教育機関 小学校:4校(1校は休校中) 中学校:2校 高等学校:1校

医療機関 病院:1か所 一般診療所:3か所 歯科診療所:4か所

社会福祉法人 3団体 民生委員 加計:18人 筒賀:6人 戸河内:16人

NPO法人 3団体 主任児童委員 加計:1人 筒賀:1人 戸河内:1人

福祉委員 設置なし

<支援機関>

安芸太田町地域包括支援センター 1か所(加計)
相談員数:3人

<介護保険サービス>

居宅サービス 10か所 地域密着型サービス 3か所

居宅介護支援 4か所 介護予防サービス 12か所

介護予防支援 1か所 介護保険施設 4か所

<生活支援・見守り>

サロン・集いの場 49か所 認知症カフェ 2か所

<支援機関>

子育て世代包括支援センター 1か所(直営(健康福祉課))
・親子相談支援センター

<子育て拠点>

子育て支援センター ・加計のびのび子育て支援センター
・戸河内子育て支援センター

児童センター 1か所

<児童福祉>

児童相談所 設置なし 児童養護施設 設置なし

Senior citizens
高齢者分野

Difficulty
障害分野

<支援機関>

計画相談支援(特定相談) ・安芸太田町社協指定特定相談支援事業所【者】(加計)
・相談支援事業所戸河内あすなろ園【者】(戸河内)
・J'sサポートJOCA×3【者・児】(加計)

<通所支援>

生活介護, 自立訓練(機能訓練・生活訓練) ・安芸太田町社協通所介護事業所「ふれあい」(戸河内)
・寿光園デイサービスセンター通所介護事業所(加計)

<就労支援>

多機能型事業所 ・安芸太田町社協多機能型事業所「クローバータウン」(加計)
・JOCA×3 共生型(加計)
・JOCA×3(加計)
・JOCA×3(中筒賀)

指定障害者支援施設 ・戸河内あすなろ園(戸河内)

<支援機関>

生活困窮者自立相談支援機関 1か所
委託(社協)

<就労支援>

無料職業紹介所 1か所

公共職業安定所 設置なし

労働基準監督署 設置なし

Child care
子育て分野

Poverty
生活困窮分野

基本情報 詳細データ①:安芸太田町地図

<安芸太田町地図>

橙エリア:加計

緑エリア:筒賀

青エリア:戸河内

★ 地域包括支援センター

◆ 公民館・児童館

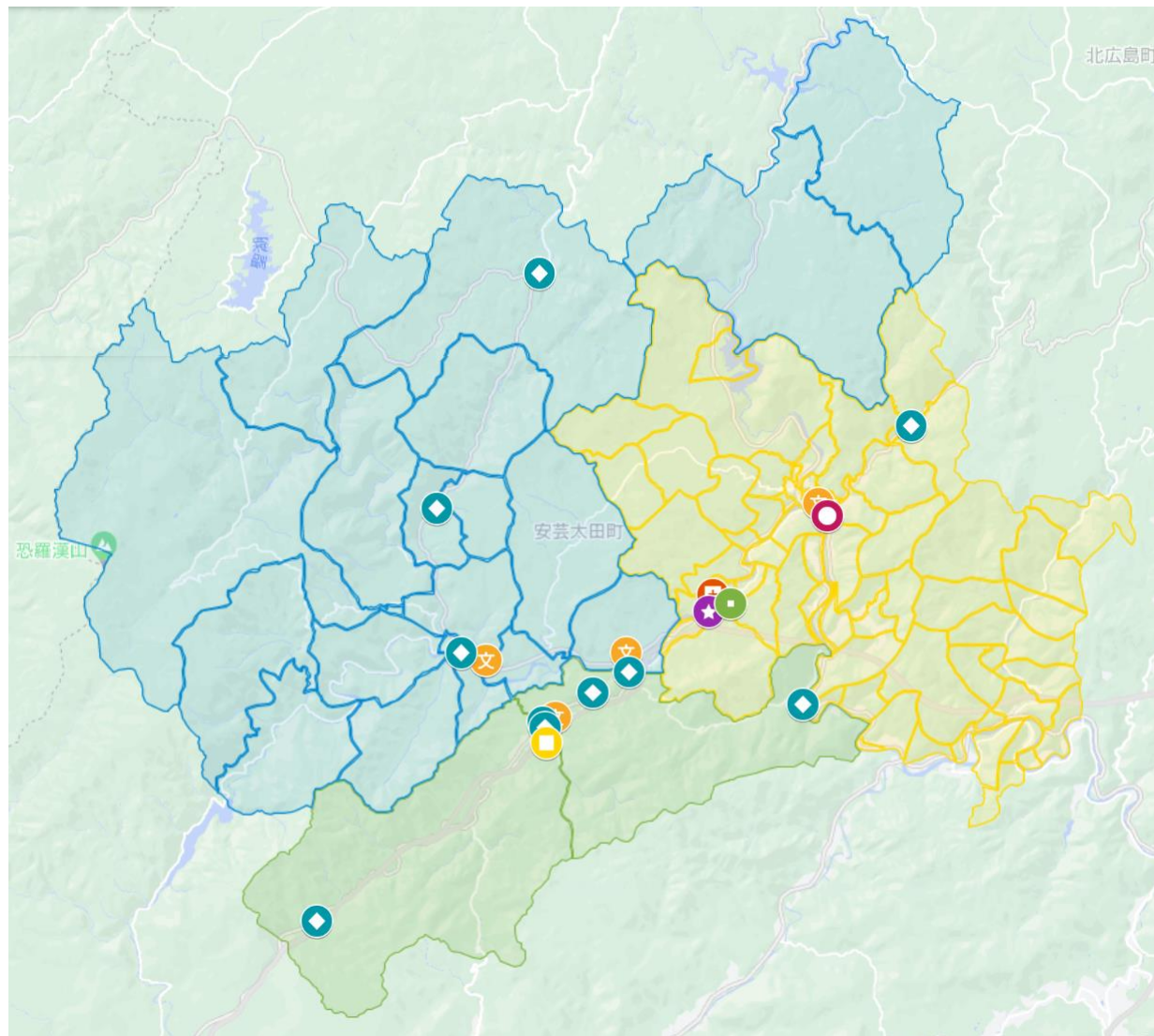
文 小学校

🏥 病院

□ 社会福祉協議会

○ 公益社団法人(JOCA×3(月ヶ瀬温泉))

● 福祉事務所



基本情報 詳細データ②:基礎データ

<人口・世帯>

【安芸太田町全体】				
総人口	5,740人	—	総世帯数	2,577世帯
65歳以上人口(率)	2,991人	52.1%	核家族世帯数	1,326世帯
75歳以上人口(率)	1,813人	31.6%	単独世帯数	952世帯
要介護認定者数(率)	722人	23.3%	6歳未満の子どもがいる世帯	124世帯
面積	341.89km ²	—	18歳未満の子どもがいる世帯	289世帯
人口密度	17人/km ²	—	65歳以上の高齢者がいる世帯	1,877世帯
			65歳以上の高齢者のみの世帯	1,246世帯
			65歳以上の高齢者のみの単独世帯	668世帯

※世帯数及び人口は国勢調査(R2)より

【加計】				
総人口	2,879人	—	総世帯数	1,583世帯
65歳以上人口(率)	1,490人	51.8%	町内会加入世帯数(率)	—
75歳以上人口(率)	933人	32.4%		—
【筒賀】				
総人口	836人	—	総世帯数	421世帯
65歳以上人口(率)	427人	51.1%	町内会加入世帯数(率)	—
75歳以上人口(率)	249人	29.8%		—
【戸河内】				
総人口	2,027人	—	総世帯数	1,075世帯
65歳以上人口(率)	1,060人	52.3%	町内会加入世帯数(率)	—
75歳以上人口(率)	669人	33.0%		—

<教育機関一覧>

学校区分	数	具体名称	
小学校 (4)	国立	0	
	県立	0	
	市町立	4	加計小学校 筒賀小学校 戸河内小学校 上殿小学校(休校中)
	私立	0	
中学校 (2)	国立	0	
	県立	0	
	市町立	2	加計中学校 安芸太田中学校
	私立	0	
高等学校 (1)	国立	0	
	県立	1	加計高等学校
	市町立	0	
	私立	0	
合計	7		

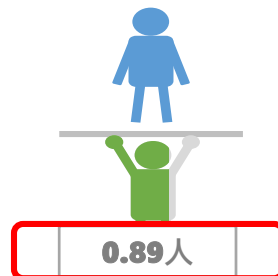
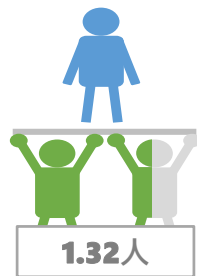
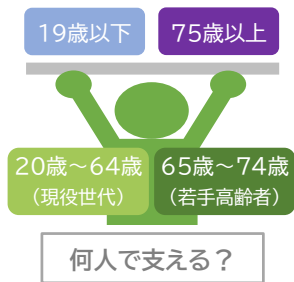
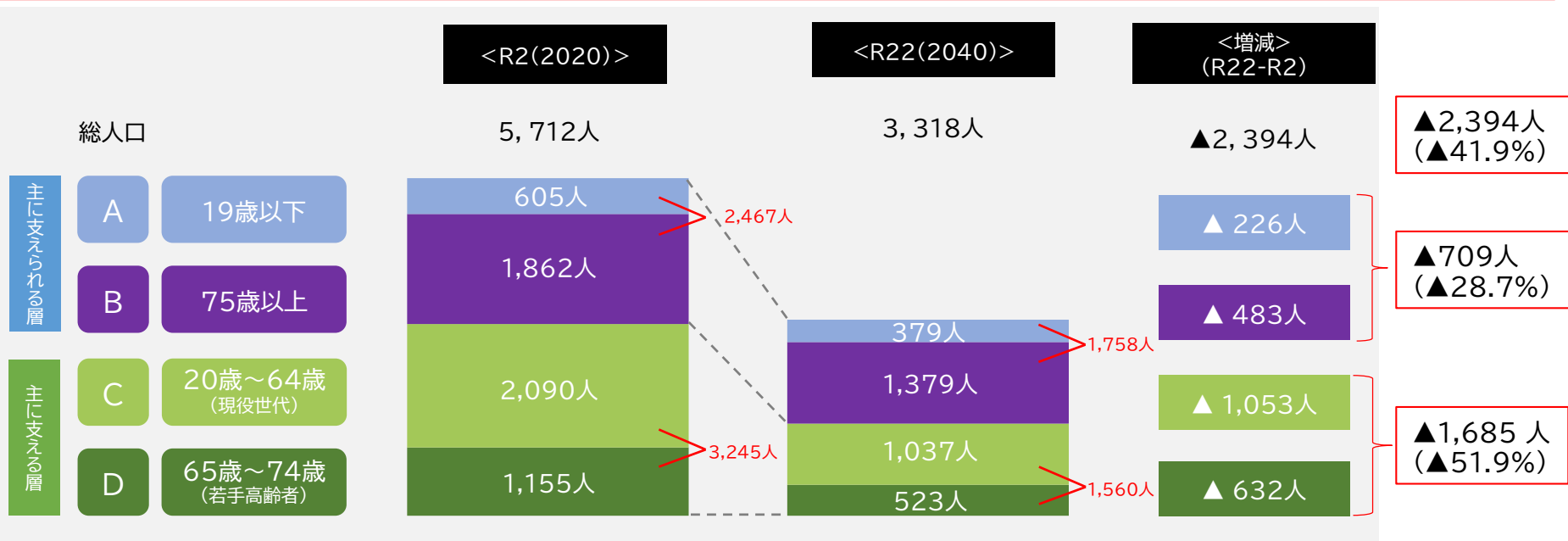
<町内会・地区社会福祉協議会>

自治振興会組織	48団体
社会福祉協議会	安芸太田町社会福祉協議会

<社会福祉法人・NPO法人一覧>

法人区分	法人名	所在地
社会福祉法人 (3)	・社会福祉法人 戸河内松信会	戸河内
	・社会福祉法人 芸北福祉会	加計
	・社会福祉法人 親心会	戸河内
NPO法人 (3)	・上殿未来会議	戸河内
	・やまおこしの会	戸河内
	・三段峡-太田川流域研究会	戸河内

安芸太田町 主に支えられる・支える層の推移



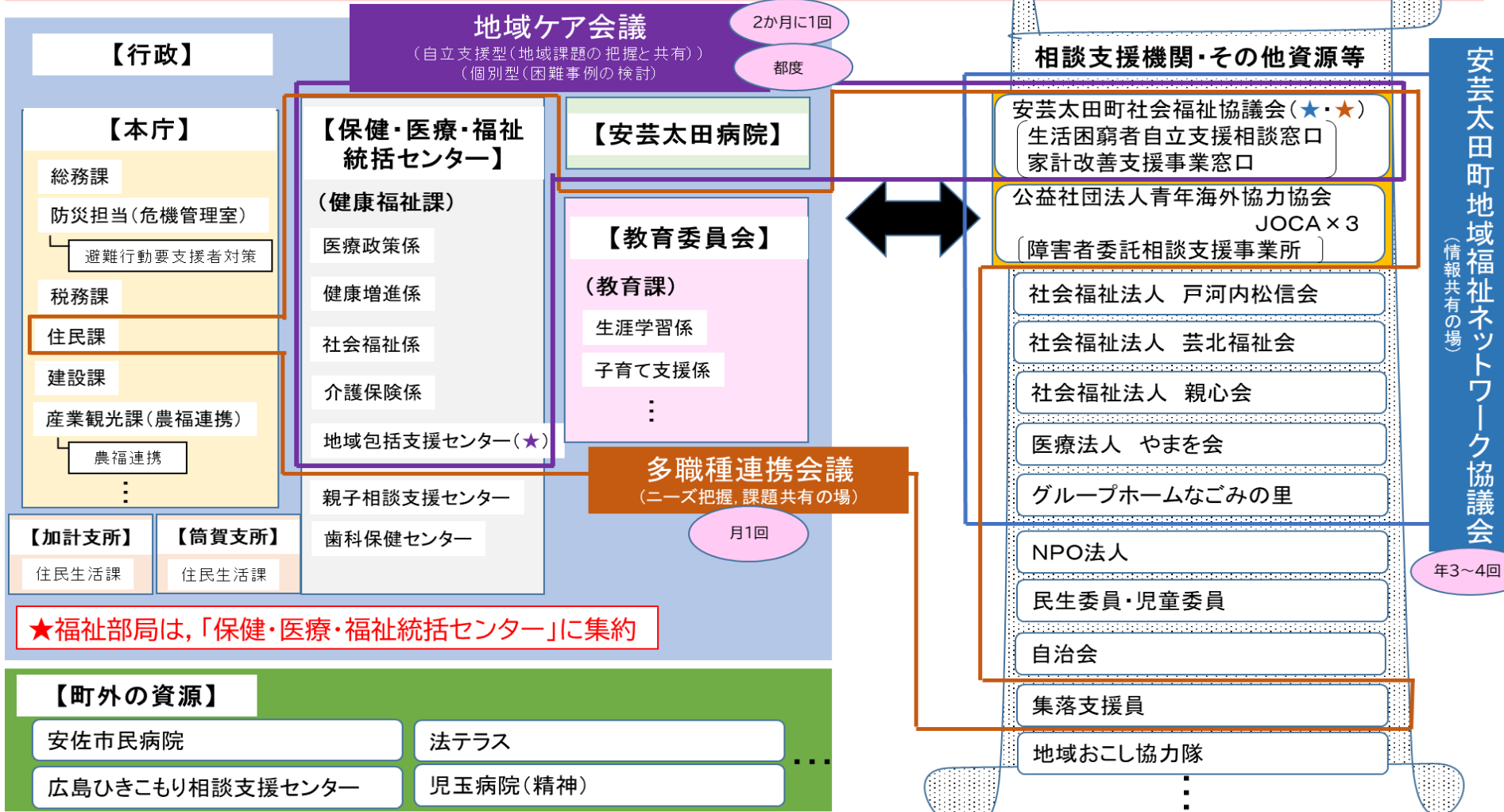
▲0.43人

出典：人口問題調査国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30(2018)年推計)」

町の人口(推計)をR2(2020)とR22(2040)で比較すると、

- ・総人口は、**2,394人(41.9%)減少**する
- ・「主に支えられる層(A・B)」と「主に支える層(C・D)」の減少率を比較すると、「主に支える層」の方が大幅に**減少する(51.9%)**
- ・「主に支えられる層(A・B)」の一人当たりに対する「主に支える層(C・D)」は、**0.89人**となる

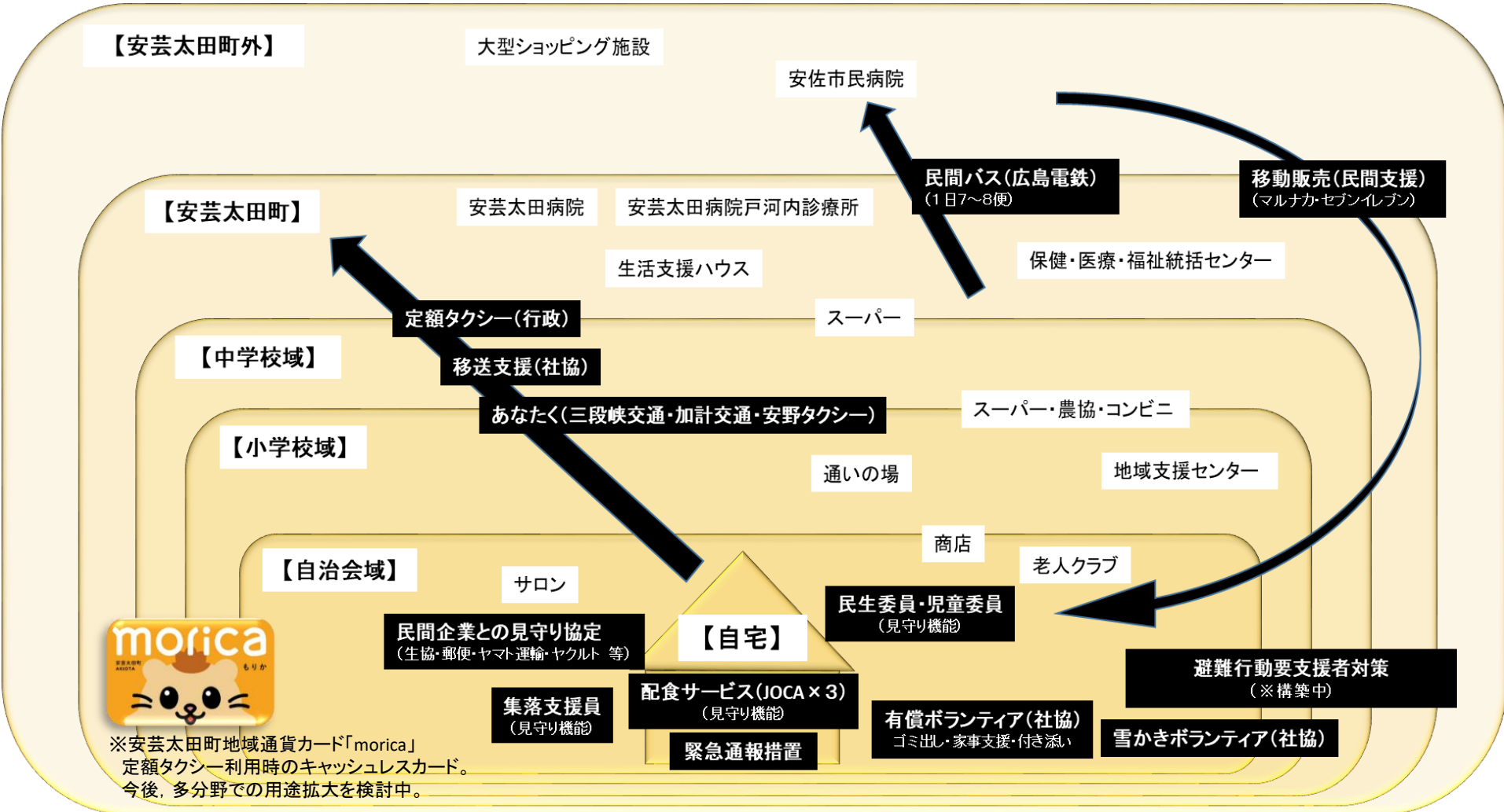
安芸太田町の包括的相談支援体制



★福祉部局は、「保健・医療・福祉統括センター」に集約

- ・町健康福祉課が、高齢・障害・子ども・生活困窮の福祉4分野を全て担い、庁内外の調整役の要となっている
- ・町:【高齢】地域ケア会議(自立支援型含む),【障害】自立支援協議会,【子ども】要保護児童対策地域協議会主催
- ・町社協:【困窮】支援会議,【共生】多職種連携会議,安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会等を主催

安芸太田町の住民の暮らしを支える資源の状況



- ・「何らかの支援が必要な高齢者」の暮らしを支える機能の維持が課題
 ~移動, 食事, 安否確認に対応する人材や資源が不足

安芸太田町の住民の暮らしを支える資源の例（ヒアリング）

● JOCA×3 配食サービス（**食事**, **安否確認**）

対象者(原則): 高齢者, 手帳保有者 等

頻度: 月～金(祝日も運営)

特徴

- ・「食器で温かい食事」の提供により, **食に対する喜び**が実感できる。
- ・対面や食事の食べ残し等から**安否確認の役割**を果たしている。

課題

- ・配達運転手の**高齢化**
- ・配食用の車両, 建物の老朽化



※出典: 公益社団法人青年海外協力協会ホームページ

● NPO法人 上殿未来会議 移送サービス（**移動**）

対象者: 上殿地区の住民

頻度: 月～金

特徴

- ・**地域住民が主体的に**移送支援の取組を実施
- ・利用者(高齢者)を自宅の玄関から病院の玄関まで移送
- ・独居や高齢世帯が対象だが, 50代で障害のある人も利用

課題

- ・**担い手(ドライバー)の高齢化や後継者不足**
- ・認知症高齢者の送迎の対応(予約を忘れている場合の対応)

